

ゆ

め

事

づ

例

く

集

い

2018

編集：呉市

まちづくり活動に積極的に取り組まれている地域の皆さんの活動状況をまとめた「ゆめづくり事例集」。2012年から始まり、今回で7冊目となった2018年度版をお届けします。

それぞれのまちづくり委員会等において、特色ある資源を活かした地域の活性化や、地域の皆さんが抱える課題の解決に向けて、何をしたらいいか、また、どのように工夫すればいいかなど、地域の皆さん自身が考え、行動されている様子を紹介しています。

地域の皆さんの手で育まれ、さらに地域の絆が強まるとともに、より一層、様々な広がりを見せているこれらの事例をご覧いただき、自分たちの取組と比べてみたり、新しい取組を考える際のヒントにしたりと、大いに活用していただければと思います。

ゆめづくり事例集2018 目次

No	事業名	団体名
1	第17回 みずとひ祭り	第2地区まちづくり委員会
2	ふれあい朝市	第2地区まちづくり委員会
3	Good-bye2018昔遊び・餅つき交流フェスタ	第2地区まちづくり委員会
4	第3地区ふれあいラジオ体操	第3地区まちづくり委員会
5	第3地区冬まつり・子どもまちづくり事業	第3地区まちづくり委員会
6	盆踊り大会および物故者追悼法要	呉市第四地区まちづくり委員会および 鹿田追奉賛会、六ヶ町自治会
7	長迫公園（旧海軍墓地）清掃活動	呉市第四地区社会福祉協議会
8	第四地区敬老会	呉市第四地区社会福祉協議会
9	第四地区防犯パトロール大会	第四地区自治会連合会
10	区域内防災訓練と防災備品整備	第5地区まちづくり委員会
11	第6地区夏まつり	第6地区まちづくり委員会
12	第6地区敬老会	呉市第6地区社会福祉協議会
13	災害時協定の締結・総合防災訓練	第6地区まちづくり委員会
14	第9回 くれ中央夏まつり（くれ絆盆踊り大会）	くれ中央地区まちづくり委員会
15	第9回 まるごと・中央地区ウォーキング大会	くれ中央地区まちづくり委員会
16	ふれあいまつり（夏まつり・盆踊り&カラオケ）	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会、自治会連合会
17	とんど祭り	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会、自治会連合会
18	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）	ふれあい広場三条の会
19	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練	両城・三条地区自主防災会
20	八畳岩登山（登山道整備、登山）	三条地区まちづくり委員会

No	事業名	団体名
21	川原石地区敬老会	川原石地区社会福祉協議会および 川原石地区まちづくり委員会
22	川原石地区合同防災訓練	川原石地区自主防災連合会および 川原石地区まちづくり委員会
23	第8地区・三条地区・川原石地区「第22回町民運動会」	第8地区, 三条地区 および 川原石地区自治会連合会
24	中央地域成人式	中央地域成人式実行委員会
25	第28回 詩歌創作大会	詩歌創作大会実行委員会
26	第13回 吉浦地区防災訓練	吉浦まちづくり委員会
27	第22回 警固屋さくら祭	警固屋まちづくり協議会
28	農業体験交流事業	警固屋まちづくり協議会
29	地域貢献人材発掘育成事業	警固屋まちづくり協議会
30	第41回今昔子どもふれあい大会	阿賀まちづくり推進協議会
31	平成30年度阿賀地区「成人の集い」	阿賀まちづくり推進協議会
32	まちづくり若者提案事業	阿賀まちづくり推進協議会
33	第45回広子ども祭	広まちづくり推進協議会
34	第70回広地区教育祭	広まちづくり推進協議会
35	第15回広地区クリーン活動	広まちづくり推進協議会
36	仁方地区自主防災会合同避難訓練	仁方町まちづくり推進協議会
37	「春が楽しみ!チューリップ」事業	仁方町まちづくり推進協議会
38	地域交流懇談会	仁方町まちづくり推進協議会
39	「宮原ホタルの里鑑賞・宮原ホタルまつり」	宮原地区まちづくり推進委員会
40	防災を考える宮原地区の集い	宮原地区まちづくり推進委員会

No	事業名	団体名
41	「宮原ホタルんクラブ」	宮原地区まちづくり推進委員会
42	鯉のぼりの吹き流し	天応まちづくり委員会
43	「笹酒まつり」と「もちつき大会」	天応地区社会福祉協議会
44	第13回 昭和地区ふれあいフェスティバル	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会
45	昭和東収穫祭	昭和東新しい町づくり推進委員会
46	第12回クリスマスコンサート	昭和西女性会
47	平成30年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事	成人の日記念式典実行委員会
48	郷原町民運動会	郷原町まちづくり推進委員会
49	ふれあい・いきいきサロン	郷原町まちづくり推進委員会
50	下蒲刈地区グラウンドゴルフ大会	下蒲刈町まちづくり協議会
51	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク	呉市川尻町まちづくり委員会
52	川尻町新成人を祝う会	川尻町新成人を祝う会実行委員会
53	川尻町敬老会	川尻町地区社会福祉協議会
54	かわじり元気まつり	川尻町元気まつり実行委員会
55	2018おんどフェスティバル	音戸町まちづくり協議会
56	おんどのふれあい朝市	音戸町まちづくり協議会
57	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ研修	宝島くらはしまちづくり協議会
58	こどもチャレンジ教室	宝島くらはしまちづくり協議会
59	長串の鼻トレッキングコース景観案内看板設置	宝島くらはしまちづくり協議会
60	第18回 かまがり恵みフェア	蒲刈町まちづくり協議会

No	事業名	団体名
61	ええとこ村プロジェクト事業（ひまわり植栽）	安浦町まちづくり協議会
62	安浦ゆめ花火大会	安浦町まちづくり協議会
63	歩け歩けウォーキングコース 命名プロジェクト	豊浜町まちづくり協議会
64	魔法のランプ事業	豊浜町まちづくり協議会
65	島めぐり事業（斎で島コン）	豊浜町まちづくり協議会
66	ビューティフルアイランド祭り	豊浜町まちづくり協議会
67	伝統的料理の教室	豊浜町まちづくり協議会
68	広島国際大学との地域提携	豊浜町まちづくり協議会
69	豊町町民運動会	豊町まちづくり協議会
70	第35回 豊町七夕納涼祭	豊町まちづくり協議会
71	第14回 豊町産業文化祭	豊町まちづくり協議会

※市内で取り組まれたまちづくり活動251件（平成30年度当初件数）のうち、代表的な事業71件を紹介しています。

番号	1	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	第17回 みずとひ祭り			事業費	約300,000円
事業の目的	<p>第2地区まちづくり委員会では、人と人とのふれあいを大切に、活力あるまちづくりに資することを目的として、みずとひ祭り、ふれあい朝市などを実施してきました。その中でも夏に行われる「みずとひ祭り」は、子どもから高齢者まで、地域をあげて多くの人に参加するビッグイベントとして定着し賑わっています。今後も、地域内外から多くの人に参加し、人と人とのつながりや新たな交流が広がるよう、内容を充実させることが必要だと考えています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年8月14日（火） 17時30分～21時 場所：和庄小学校校庭及び体育館 内容：小学生以下を対象としたジャンケン大会 お楽しみ抽選会、和庄中学校吹奏楽部の演奏 盆踊り、神楽の鑑賞 地域の人たちによる模擬店 （焼き鳥、焼きそば、かき氷、フランクフルト他） 来場者：約1,100名 ※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、 また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付しました。</p>				
企画・実施した人	<p>第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会や民生委員児童委員等と話し合いながら企画立案しました。地域ボランティアの多数の参加もあり、地域全体が盛り上がるイベントになりました。また、オープニングでは、昨年「子どもまちづくり事業」で作成した御神輿を子ども達が担ぎ、会場を盛り上げました。</p>				
苦労した点	<p>地域の担い手の高齢化に伴い準備が大変だったが、和庄中学校の生徒約70名と親父の会の方々がボランティアとして手伝ってくれたおかげで助かりました。</p>				
活動状況	 <p>子ども水みこしによるオープニング</p>		 <p>屋台の様子</p>		
	 <p>会場の様子</p>		 <p>有志による踊り</p>		

番号	2	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	ふれあい朝市			事業費	245,000円
事業の目的	<p>市町村合併を契機に地域内、地域間交流を目的に始めたふれあい朝市も今回で12回目を迎えました。現在では、多くの来場者で賑わうなど、夏はみずとひ祭り、冬はふれあい朝市と呼ばれるほど、地区内を代表するイベントとして定着し、地域の活性化に貢献しています。ふれあい朝市では、至る所であいさつや世間話を楽しむ光景が見られます。中には、朝市のおかげで、しばらく会っていなかった人に再会し話しができた方もおられます。今では、地区外から参加される方も多く、新たな交流が生まれています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年3月11日（日） 8時～12時 場所：元町公園（旧本通第3公園） 内容： <ul style="list-style-type: none"> ・きねつき餅実演販売 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアがつくった物品の販売（かき飯、とり飯、たらい寿し、たこ焼き、コロッケ、うどん、清水谷名水コーヒー等） ・子どもゲームコーナー設置 ・健康増進課による健康づくりコーナーの設置（血圧測定、健康相談及び減塩豚汁の炊き出し） 来場者：約1,100名 ※参加促進のため、65歳以上の高齢者には1世帯300円の【元気券】を、また、小学生には1人300円の【子ども券】を配付しました。</p>				
企画・実施した人	<p>・第2地区まちづくり計画の大きな柱の一つである「わいわい地域交流」活動の一環として、女性会、民生委員児童委員、地域ボランティア等と話し合いながら企画立案しました。夏に開催する「みずとひ祭り」と同じように、地域全体が盛り上がるイベントになりました。</p>				
苦勞した点	<p>特にありません</p>				
活動状況					

番号	3	団体名	第2地区まちづくり委員会	代表者	城 健康
事業名	Good-bye2018昔遊び・餅つき交流フェスタ			事業費	約150,000円
事業の目的	<p>近年、子どもを取り巻く地域・社会環境は、事件・事故等多くの課題を抱えています。子どもにとって安全・安心なまちづくりを実現するためには、地域の絆を深めるとともに、地域ぐるみで児童の健全育成活動を推進する必要があります。その活動の一環として、和庄小学校を通学区域とする子ども達が地域の人と一緒に正月の伝統的な「昔遊び・餅つき」を体験し、地域の異世代の人々と交流を持つことにより、地域の人と顔なじみになり、日頃の挨拶も活発に行われるなど、子どもを取り巻く環境や安全に対する住民の意識も高まるものと考えられます。祖父母→お父さん・お母さん→お孫さんと次世代への伝統文化の継承及び地域・世代間の交流を通して、高齢者が生き甲斐を持ち地域社会に貢献するとともに、子ども達も地域文化に目覚め、地域の人々と豊かな関係性を持って成長することを目指します。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年12月28日（金） 9時～12時 場所：和庄小学校校庭 内容：昔遊び体験コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> こま回し，けん玉，竹とんぼ及びお手玉の4つのコーナーを設け，子ども達が地域の方に教えてもらいながら昔遊びを一緒に体験します。 今年は子ども達の提案で「英語で挑戦しよう福笑い」のコーナーを設けました。 <p>ふれあい餅つき大会</p> <ul style="list-style-type: none"> 杵での餅つきや足踏み式餅つきを体験します。 つくたての餅をぜんざいにしたり，きな粉やしょうゆをつけて食べます。 参加された方にはお土産として餅を配布します。 <p>参加者：約400名（子どもが約200名参加。毎年増加しています。）</p>				
企画・実施した人	<p>平成25年度から3年間、和庄小学校区の第2地区及び第3地区まちづくり委員会が連携事業として、市民ゆめ創造事業交付金（地域間連携推進事業）を財源に充て実施しましたが、平成28年度より、第2地区まちづくり委員会単独で実施しています。年末の餅つき大会を楽しみにしている方も多く、地域間、世代間交流を育む良い機会となっています。</p>				
苦労した点	<p>各地で餅つき大会を中止する所が出て開催を危ぶむ声もありますが、地域のふれあいや一体感を醸成するには餅つき大会を開催するべきだとの意見が多かったため、衛生面に十分気をつけ実施しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>けんだま体験</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>英語で挑戦しよう福笑いコーナー</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>醤油餅・きなこ餅の配膳</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>子どもの餅つき体験</p> </div> </div>				

番号	4	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区ふれあいラジオ体操			事業費	700,000円
事業の目的	夏休み期間中、地域の子どもから高齢者までが、健康を維持に効果のあるラジオ体操を行い、地域をあげて健康な体をつくる。				
事業概要	<p>日時：平成30年7月21日（土） 6時30分～</p> <p>場所：和庄中学校校庭</p> <p>内容：地域の子どもから高齢者までが、早朝、和庄中学校に集合し、健康を維持するために非常に効果のある「究極の健康法」とも言われているラジオ体操第1を一斉に行い、地域をあげて健康な体をつくる運動をスタートさせる。</p> <p>以後、夏休み期間中は、早寝早起きする規則正しい生活を行い、自宅で毎日、6時30分から10分間ラジオ体操を行い健康維持を図る。</p> <p>当日は、体操後に脱水予防のための飲料とタオルを配布した。</p> <p>参加者：271名</p>				
企画・実施した人	第3地区まちづくり委員会健康づくり部会が中心となり企画実施し、当日、まちづくり委員会の役員も協力した。				
苦勞した点	和庄中学校は、学校を上げて協力・参加してくれるが、和庄小学校及び本通小学校は、学区内に第2地区及び第4地区の各まちづくり委員会があるため、学校からの参加呼びかけがしにくい状況があった。自治会回覧等で参加の呼びかけをするが、やはり児童の参加者数は少なかった。				
活動状況	 <p>会長の挨拶・号令</p>		 <p>ラジオ体操風景</p>		
	 <p>スポーツドリンクやタオルを配布</p>				

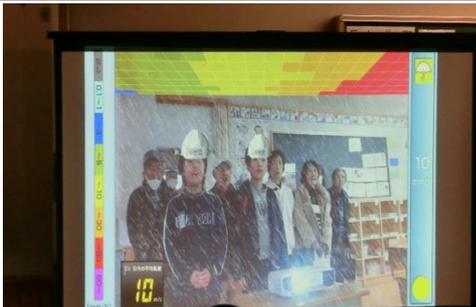
番号	5	団体名	第3地区まちづくり委員会	代表者	齊藤 晴彦
事業名	第3地区冬まつり・子どもまちづくり事業			事業費	456,000円
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流を促進し、絆を強める。(世代間交流も含む) ・「とんど」という地域伝統文化の継承 ・子どもの健全育成 ・合同防災訓練や交通安全教室を兼ねた複合イベント「冬まつり」を実施することで、参加者の増加、安全安心なまちづくりの推進と、公的機関との協働により地域力の向上を図る。 ・本通小学校6年生を中心に4年生と合同で実施する子どもまちづくり事業による大きな関わりから、地域への愛着をもたせることができる。 				
事業概要	<p>日時：平成31年2月3日(日) 9時～12時 場所：本通小学校グラウンド 内容：平成22年度(30年ぶり)から復活した「とんど焼き」を中心に、地域の子どもと大人が交流する事業で、今年が9回目にあたります。 昨年からは、従前の「とんど焼き」の他、6年生が地域の大人と作った「ミニとんど焼き」も加わり、さらに、合同防災訓練(煙中避難、負傷者搬送、AED操作、消火器操作)、交通・防犯教室、餅つき大会、大人と子どものゲーム遊び、子どもものづくり教室、本通小学校PTAのバザー(古本、古着、雑貨等販売)、6年生発案したスタンプラリーの景品でフランクフルトの配布や4年生の防災グッズの作成、とん汁、ぜんざい、たこ焼き、お餅の無料配布など、盛りだくさんの内容で、たくさんの方が参加し、大盛況でした。 昔の遊びを体験できるものづくり教室やパン食い競争、的当て、竹馬などのゲーム、もち焼き、スタンプラリーなどで子ども達が楽しむ姿が印象的でした。 参加者：700名</p>				
企画・実施した人	企画：第3地区まちづくり委員会 地域文化の伝承部会 実施：第3地区自治会連合会・本通小学校・PTA・ソフトボール同好会 地区子ども会・和庄中学校有志・呉警察署・呉市消防局西消防署 呉市消防団呉東地区隊本通分団・第3地区内の商業振興部会 地域内外の有志・呉市職員				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・天候(天気予報などの寒波事前情報により、準備日も含め早めに実施判断をした。) ・とんど(ミニとんどを含む)の材料集め及び設計・製作 ・小学校、警察、消防、消防団及び各種地域団体、保健所との調整 ・地域の伝統行事を手伝ってくれるまちづくり協議会の後継者不足 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>小6によるミニとんどの組み立て</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>燃え上がる大小のとんどを見守る</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>合同防災訓練(消火器操作訓練)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>交通・防犯教室</p> </div> </div>				

番号	6	団体名	呉市第四地区まちづくり委員会および 鹿田迫奉賛会、六ヶ町自治会	代表者	谷本 誠一
事業名	盆踊り大会および物故者追悼法要			事業費	107,590円
事業の目的	<p>地域の絆を深めるため、毎年、長迫小学校校庭で、地元の奉賛会と6つの自治会および第四地区まちづくり委員会が合同で盆踊り大会を開催しています。</p> <p>この盆踊りに出店する焼きそば、かき氷、フランクフルトやゲームコーナーで使用できる買い物券をまちづくり委員会が発行・配布することにより、多くの参加者が集まり、地域全体のイベントとして盛大に開催されています。また、そのことで、顔と顔の見える地域社会の実現に繋がっています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年8月4日（土）18時30分～21時 ※盆踊り開始前に物故者追悼法要</p> <p>場所：長迫小学校グラウンド 参加者：約400名</p> <p>内容：・夜店・ゲームコーナー 焼きそば、フランクフルト、ジュース、かき氷、スーパーボールすくいなど ・盆踊り大会 長迫小学校グラウンドにやぐらを組み、子どもの太鼓や文連の三曲会による炭坑節や呉音頭の生演奏・生唄にあわせて盆踊りを行った。 また、鳴子を子どもに配り、よさこいバージョンの盆踊りで盛り上がった。 ・抽選会 盆踊りの後、カープグッズや花火を賞品とした抽選会を行った。</p>				
企画・実施した人	鹿田迫奉賛会、六ヶ町自治会および呉市第四地区まちづくり委員会 ※協力：三曲会（文連）				
苦労した点	<p>範囲の広い第4地区をまとめ、地域文化の伝承と季節の風物詩である盆踊りを盛り上げるため、第四地区まちづくり委員会としてどのような方法が最も効果的かを検討した結果、買い物券の配布を続けているが、多くの人が参加するようになり一定の効果を果たしている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>2018/08/04 18:24</p> <p>盆踊り前に行われた物故者追悼法要</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2018/08/04 19:12</p> <p>子どもの太鼓と「三曲会」による生演奏と生唄</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>2018/08/04 19:40</p> <p>鳴子を手に、よさこいバージョンの盆踊り 夜店・ゲームコーナーに集まる子どもたち</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【射的】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【かたぬき】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【スーパーボールすくい】</p> </div> </div>				

番号	7	団体名	呉市第四地区社会福祉協議会	代表者	谷本 誠一
事業名	長迫公園（旧海軍墓地）清掃活動			事業費	60,561円
事業の目的	<p>長迫公園（旧海軍墓地）をお盆前に地区内の住民が清掃し、清掃後は、参加者全員で慰霊祭壇に黙とうを捧げています。</p> <p>戦後、荒れ果てていた旧海軍墓地を近隣住民が自主的にきれいにしていた清掃活動は、これまで68年もの間、継続しています。</p> <p>第4地区は範囲が広いですが、長迫公園から遠方の住民も参加しています。また、子ども会もラジオ体操の後に、この清掃活動に参加しており、地域の大切な行事として次世代にも引き継がれています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年8月11日（土）6時50分～8時 清掃活動,その後,供養式</p> <p>場所：長迫公園（旧海軍墓地）園内道路・石畳や水路を含む周辺一帯</p> <p>参加者：約130名</p> <p>内容：・清掃活動</p> <p>公園内の植栽，園路・石畳，溝，水路，石垣法面など全体を清掃した。7月豪雨で流出した土砂で土のうを作成し，今後の災害に備えた。各自治会から熊手や竹箒を提供し，参加者全員に熱中症対策の水とお茶，煎餅を配布した。</p> <p>・供養式（黙とうおよび合掌）</p> <p>清掃後，慰霊祭壇に参加者全員で黙とうを捧げ，一人一人が登壇して手を合わせた。</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市第四地区社会福祉協議会とその傘下である自治連、女性会、民協が中心となって実施しました。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子どもが多く参加したため，安全対策に苦労した。（熱中症，けが，まむしなど） ・豪雨災害を受け土のう袋を450枚準備したが，それでもかなり足りなかった。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>公園入り口の「横断幕」を目印に集合し記念写真</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>清掃活動</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>土のう作成</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p>黙とうの後，祭壇に手を合わせました</p> </div> </div>				

番号	8	団体名	呉市第四地区社会福祉協議会	代表者	谷本 誠一
事業名	第四地区敬老会			事業費	1,341,580円
事業の目的	<p>第4地区では目標の一つである「地域でふれあい楽しいまちづくり」のため、地区社協所属の各団体をはじめ、地元の団体やグループ、幼稚園、警察署などが協力し、敬老者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>今年度も、地元グループや保育園などがアトラクション発表などで協力したことにより、アットホームな敬老会になり、世代間交流と本当の意味での楽しいまちづくりに役立ちました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年9月17日（月・祝）9時～11時30分 ※8時30分～受付 場所：本通小学校体育館 参加者：約400名（うち被招待者：約300名） 内容：・式典 ①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷 ④主催者代表あいさつ ⑤記念品贈呈 ⑥来賓祝辞および来賓紹介 ⑦祝電披露 ⑧被招待者謝辞 ⑨長寿万歳 ⑩閉会のことば ・アトラクション（演芸） ①平原保育園「たる太鼓と歌」 ②東畑自治会「バンド演奏」 ③西畑町自治会「歌とピアノ」 ④東雲自治会「獅子舞」 ⑤東鹿田町自治会「日本舞踊」 ⑥溝路町自治会「フォークダンス」 ⑦長迫町自治会「日本舞踊」 ⑧本通ハンドベル同好会</p>				
企画・実施した人	<p>・地区社会福祉協議会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※自治連、女性会、民協、保護司会などが主体となって、地元の保育園なども全面協力</p>				
苦労した点	<p>単独地区社協の開催のため派手な行事はできないが、各団体やグループ、地元保育園などが協力し、手作りで地元開催ならではの敬老会を行うことができました。</p> <p>祝う者（主催者や発表者）と祝われる者（招待されたお年寄り）、どちらも笑顔で楽しそうにあいさつを交わし、地域の目標の一つである「世代間交流」が十分できました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>平原保育園「たる太鼓と歌」</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>サウンドメイツ「バンド演奏」（東畑）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>本通フォークダンスクラブ（溝路町）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>本通ハンドベル同好会（曙等）</p> </div> </div>				

番号	9	団体名	第四地区自治会連合会	代表者	谷本 誠一
事業名	第四地区防犯パトロール大会			事業費	165,776円
事業の目的	地域住民の犯罪予防に対する意識を喚起し、住民と関係機関が連携して犯罪のない地域社会を構築することを目的とし、年の瀬を迎える10月末～11月に、第4地区では防犯パトロール大会を自治会連合会の主催で実施しています。				
事業概要	<p>日時：平成30年10月28日（日）9時～12時 ※9時～防犯パトロール、10時～式典</p> <p>場所：・パトロール：各地（4グループ）→本通六丁目交番（途中集合） →長迫小学校</p> <p>内容：・式典・アトラクション：長迫小体育館、豚汁等の振る舞い：長迫小別棟（図工室等） ・パトロール（パレード） 第4地区内各地（東西南北4グループ）から、幟旗を持ち「安全・安心のまちづくり」や「交通安全」などを呼び掛けながらパレードを行った。途中、9時半を目安に六丁目交番で集合、その後分かれて各地域をまわった。</p> <p>・式典 ①会長あいさつ ②和庄中学校吹奏楽部の演奏 ③来賓祝辞・紹介 ④平原保育園児によるたる太鼓演奏と遊戯 ⑤大会宣言（平原保育園児による「ガンバロウ」の三唱）</p> <p>・豚汁等の振る舞い（女性会） 参加者：260名</p>				
企画・実施した人	第四地区自治会連合会及び第四地区まちづくり委員会が協力して開催し、地元女性会や民協などとも連携を図っています。				
苦労した点	今年度は晴天に恵まれパレードができましたが、過去5年間で4回も雨天のためパレードができず、毎年天候について心配しなくてはならないのが悩みです。雨天対策もあって、今年度から式典会場を体育館に、食事会場を東校舎内に変更しました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>各地を出発</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>和庄中学校吹奏楽部の演奏</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>途中、本通六丁目交番で一旦、全員集合</p>  <p>パレードの様子</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>平原保育園児によるアトラクションと大会宣言</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>大会宣言の様子</p> </div> </div>				

番号	10	団体名	第5地区まちづくり委員会	代表者	土本 敏明
事業名	区域内防災訓練と防災備品整備			事業費	約1,200,000円 (訓練, 備品合計)
事業の目的	<p>第5地区は、市内中心部から灰ヶ峰中腹にわたり南北に細長く広がる地域で、急峻な地形が複数の河川や谷などを形成しており、また急勾配で狭い道路も多く、災害時の避難や物資の搬送などに不安を抱えています。</p> <p>このような中、住民アンケートで最も関心の高かった「防災」に対する意識を高めるとともに、実際の災害時における行動を想定した「体感」シミュレーションを行うため、地域内を4ブロックに分けて総合防災訓練を行いました。</p>				
事業概要	地区	惣付地区	明立小学校区	辰川地区	荘山田小学校区
	日時	H30.6.24(日)	H30.9.3(月)	H30.9.30(日)	H30.12.21(金)
	場所	惣付公園・ふれあい集会所	明立小学校	辰川会館	荘山田小学校
	参加者	約90名 幼小中学生, 地域住民	383名 幼小中学生, 地域住民	台風接近のため中止 荘山田小学校区に参加	394名 幼小中学生, 地域住民
	内容	①②③⑤⑦ ①②③④⑤⑥⑦ ①②③④⑤⑥⑦⑧ ①消火訓練, ②搬送訓練, ③救命(AED)訓練, ④ヘラセオン(豪雨・暴風疑似体験) ⑤ロープ結索方法⑥煙中体験⑦講話⑧車椅子体験 ・防災用品収納倉庫: H23: 4か所新設, 1か所改修(旧辰川小体育館下倉庫) H24: 5か所新設 H25: 2か所新設・1か所共用(4自治会は自治会で倉庫を設置済み), 炊き出し用釜2セット購入 H26: 炊き出し用釜2セット, 大型扇風機10台, 発電機2台, 会議机29台購入 H27: 大型ストーブ4台購入 H28: テント29台購入 H29: リヤカー7台, 担架10台, 車いす4台, 大型扇風機4台購入 →拠点避難所(明立小学校, 荘山田小学校, 辰川会館, 惣付ふれあい集会所), 準拠点避難所(第5地区集会所)に配備			
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の「安心して住めるまちづくり部会」(メンバー13名)が企画し、各ブロックごとに、所属する自治会長が中心となって、会場準備や消防との調整、物品の準備、当日の運営などを行いました。</p>				
苦労した点	<p>※子どもからお年寄りまで、地域に住む皆さんが参加できるよう、学校や幼稚園などと協力して実施できるよう調整しました。また、体験的プログラムを取り入れ、参加者に少しでも興味を持ってもらえるよう工夫しました。災害は、いつどこで起こるか分からないので、開催日時と場所を考えました。休日の午前だけでなく、終業式後に実施した箇所もあります。</p> <p>会場は、地域の防災拠点ごとに設定しました。特に小学校は重要で、校区が第5・第4地区にまたがっている「明立小」と、第5・中央地区にまたがっている「荘山田小」は、「学校区」という単位でまとまって訓練できるよう実施しました。</p> <p>※これらの活動により、平成25年度中に全自治会に自主防災会が結成されました。防災用品は、自主防災会設立と同時に設置・購入計画をたて、数年間をかけて整備しております。</p>				
活動状況					
					
	炊き出し訓練 (今回はアルファーマイ)		ヘラセオン (豪雨・暴風疑似体験)		
	幼児による水消火器訓練		車椅子体験		

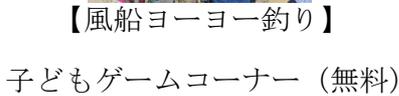
番号	11	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区夏まつり			事業費	417,984円
事業の目的	<p>今年で第11回目を迎える「第6地区夏まつり」には、地区内の自治会や社会福祉法人などが、焼きそばやコロッケなどの屋台（テント）を出店しています。また、片山中吹奏楽部の演奏やYAMATOくれびとによるよさこい踊り、盆踊り、地元のスーパーマーケットの抽選会、子ども花火大会、そして、フィナーレに「打ち上げ花火」と「ナイアガラの滝」に見立てた花火が打ち上げられるなど、地域が一体となって開催する第6地区の夏の一大イベントとなっています。</p> <p>地元地縁団体だけでなく、様々な団体や各世代が一つとなり、このような行事を行うことによって、地元の一体感や世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年8月18日（土） 17時～20時 ・場所 片山中学校グラウンド ・内容 屋台（テント） いなり寿司、焼きそば、ポップコーン、綿菓子、かき氷、コロッケ、フランクフルト、パン、アメリカンドッグ、肉じゃが、おむすび、うどん、たこ焼き、ジュース、生ビール お遊びコーナー（輪投げ、風船ヨーヨー、スーパーボール、まとあて） ステージ 片山中吹奏楽部・運推協による健康くれ体操、YAMATOくれびとよさこい踊り・盆踊り・ナンバー抽選くじ メモリアルコーナー、射的、ゲーム 花火（子ども用花火、打ち上げ花火、ナイアガラ） ・参加人数（一般参加） 1,449人（対前年比12.6%増） 				
企画・実施した人	<p>主催の第6地区まちづくり委員会を中心とした地元各種団体やボランティアで実行委員会をつくり実施。ほかに片山中学校、社会福祉法人かしの木、地元のスーパーマーケット藤三片山店なども全面協力</p>				
苦労した点	<p>会場となる片山中学校や多数のボランティア（会場づくりや片付け、司会、吹奏楽部の発表、子ども用花火の配布など）などを含む実行委員会メンバーの協力がなければ実施できない行事ですが、そういった学校等と地域との連携が結果的には世代間交流や地域の団結力につながっています。</p>				
活動状況	 <p>オープニングは片山中吹奏楽部</p>		 <p>YAMATOくれびとによるよさこい踊り</p>		
	 <p>参加者みんなで盆踊り</p>		 <p>エンディングの花火はナイアガラ</p>		

番号	12	団体名	呉市第6地区社会福祉協議会	代表者	藤本 勝彦
事業名	第6地区敬老会			事業費	534,291円
事業の目的	<p>第6地区では、第6地区未来基本計画の9ページ「実施計画」にある「各種イベントの開催」で「高齢者を支えます」を目標に、各種団体の協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動しています。</p> <p>今年度も、地元の団体や幼稚園、小中学校、社会福祉法人などが協力して手作りの敬老会を開催したことにより、アットホームで本当にお年寄りが喜んでくださった行事になりました。</p>				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年9月17日(祝) 10時～12時 ・場所 くれ絆ホール(呉市役所1階) ・敬老対象者数 595人 ・来場者数 364人 ・内容 式典 ①開会のあいさつ ②国歌・呉市歌斉唱 ③物故者への黙とう ④会長あいさつ ⑤来賓祝辞・紹介 ⑥祝電披露 演芸(アトラクション) <ul style="list-style-type: none"> ①至心幼稚園「遊戯と歌」 ②荘山田小学校「歌と語り」 ③かしの木「日本舞踊」 ④郷町よもぎの会「手話」 ⑤きたさこ「華」ーず「混声コーラス」 ⑥片山中学校「合唱と吹奏楽」 閉会のあいさつ 				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・呉市第6地区社会福祉協議会と第6地区まちづくり委員会を中心とした地元の各団体が協力して実施 ※地区内の幼稚園や小・中学校、社会福祉法人かしの木なども全面協力。 				
苦勞した点	<p>地区内の敬老者を地区のみんなでお祝いしようと、各団体やグループ、幼稚園、小・中学校、社会福祉法人などが協力して行ったことで、世代間交流にもなりました。</p> <p>また、片山中学校のボランティアが受付などを協力してくれました。</p> <p>ご近所で見かける子どもや若者が自分たちのためにお祝いをしてくれるのをうれしそうに見ているお年寄りの姿を見て、これからも地元の団結力で、敬老行事を継続実施させていくと決意を新たにしました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 30%;">  <p>至心幼稚園 「遊戯と歌」</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>かしの木 「日本舞踊」</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>郷町よもぎの会 「手話」</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>荘山田小学校 「歌と語り」</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>混声コーラス きたさこ「華」ーず</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>片山中学校 「合唱と吹奏楽」</p> </div> </div>				

番号	13	団体名	第6地区まちづくり委員会	代表者	藤本 勝彦
事業名	災害時協定の締結・総合防災訓練			事業費	—
事業の目的	<p>・災害時における自助・共助の地域力を強化するとともに、中学生に主体性をもって防災訓練に取り組んでもらうことで、地域の将来を担う人材を育成している。</p> <p>・地区住民に避難場所の確認と意識付けを行うとともに、避難時の問題点を洗い出すことにより、有事の際に多くの命が助かるようにするため、住民の危機管理意識を育てること。</p> <p>・まちづくりの柱の一つに位置づけ、住民だけでなく地域内の福祉施設や店舗などを含む地域組織として、危機意識を持って取り組むことで、地域の一体感（絆）が生まれる事業にする。</p>				
事業概要	<p>【災害時協定】 当まちづくり委員会は、平成24年に地元の藤三片山店と災害時の避難所としての敷地の一部使用や、食糧等の優先的な購入等についての防災協定を締結しており、さらに、平成29年には、社会福祉法人かしの木とも災害時における施設の一部使用協定を締結している。</p> <p>【総合防災訓練】 日時・場所 平成30年11月30日（金）9時50分～12時 片山中学校 内容 9時55分に震度6の地震があったことを想定して、地域内の幼・小・中・福祉施設・住民全ての人を対象に避難訓練を行い、地域の避難場所としての片山中学校に避難し、グラウンドで全員の安否確認を行った。その後、グラウンドで、初期消火・衛星電話での通話・給水の3訓練を、また、校舎内で煙中・避難所設営の2訓練を行った。小学校高学年と中学生が低学年及び幼稚園児とペア（チーム）を組んで訓練に参加したことで、地域内の子ども同士の連帯感が生まれた。</p> <p>参加者 828人</p>				
企画・実施した人	<p>【主催】 第6地区まちづくり委員会 ・第6地区社会福祉協議会 ・第6地区自治会連合会及び女性会 ・片山中学校 ・荘山田小学校 ・至心幼稚園 ・社会福祉法人かしの木 ・呉市社会福祉協議会 ・(株)藤三 ・西消防署 ・消防団呉中央分団 ・水道局 ・NTT西日本 ・ウォンツ片山店</p>				
苦労した点	<p>中学校と連携しながら中学生に主体性をもってもらうよう工夫した。また、地域のリーダーには、当日の役割や動きの確認をするため、複数回の説明・打ち合わせ会を行った。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>片山中避難訓練風景</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>衛星電話での通話訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>給水訓練</p> </div> </div>				

番号	14	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦 木村 公一
事業名	第9回 くれ中央夏まつり（くれ絆盆踊り大会）			事業費	約1,100,000円
事業の目的	<p>中央地区には史跡や神社仏閣、伝統行事がないため、地区の祭りがなく、高齢者と若者・子どもの交流が少なくなっています。また、近年マンション等の住民は増えていますが、自治会に加入していない方も多いため、若い世代が地域行事に参加する機会が少なくなっています。</p> <p>このような中、交流と賑わいの場を創り出すとともに、地域の方の参加意識の向上を目指して、気軽に楽しく参加できるイベント「くれ中央地区夏まつり」を実施しています。</p> <p>なお、平成25年の第4回から、場所を体育館前の児童公園から、中央公園噴水西側に移し、ステージを組んで、呉市文化団体連合会民舞民謡部の方々等による「呉音頭」講習と「盆踊り大会」を盛大に開催しています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年8月25日（土）16時～21時 ※準備は13時～、後片付け終了は22時</p> <p>場所：中央公園噴水西側</p> <p>内容：・模擬店運営 かき氷、たこ焼き、焼きそば、フランクフルト、焼き鳥、コロッケ、唐揚げ、枝豆、カレー他</p> <p>・こども広場運営 ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、ビンゴゲーム、お宝釣り、輪投げ、コイン落とし、水鉄砲、お楽しみ抽選会（うちわくじ）</p> <p>・くれ絆盆踊り、ステージパフォーマンス （吹奏楽、和太鼓、呉氏・ふなっしーによるダンス、ジャズバンド、神楽）</p> <p>来場者：約3,500名</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内のコミュニティ推進部会と青少年育成部会が中心となって企画立案するとともに、他の部会と民生委員、行政（市、警察、消防団）、くれ絆盆踊り実行委員会などが協働して各ブースの設営、運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>平成25年から、会場を広げて模擬店・子供広場を工夫し、ステージを設営するなど地域の方々等総出で運営しています。ステージでは、地元ボーイスカウト・ガールスカウトによる吹奏楽の演奏と「呉氏」・「呉氏 Jr」によるダンス披露のオープニングセレモニーで始まり、「ふなっしー」が呉市への支援金904万円（クレス）を持参して飛び入り出演、ジャズバンド、和太鼓、盆踊り大会などのほか神楽の上演を行い、大いに盛り上がりました。年度当初から準備委員会を立ち上げ、タイム設定・進行に最後まで気を配りました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ふなっしーと呉氏のスペシャルステージ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>キッズコーナー風景</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>呉音頭で盆踊り</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>神楽上演（紅葉狩り）</p> </div> </div>				

番号	15	団体名	くれ中央地区まちづくり委員会	代表者	中谷 一彦
事業名	第9回 まるごと・中央地区ウォーキング大会			事業費	約80,000円
事業の目的	<p>中央地区は、駅に近いことから、市外へ通勤通学する方が多く、またオフィスビルも多いため、昼間人口と夜間人口の動きが激しくなっています。また、マンションが多く、共働き世帯も多いことから、人のつながりが希薄になっています。</p> <p>このような中、自治会加入者と未加入者、また地域内に住む方と地域内で働く方など、多くの方が交流し、楽しく健康づくりができるよう、「まるごと・中央地区ウォーキング大会」を実施しています。</p> <p>また、中央公園児童公園で、防災訓練炊き出しを行い、ウォーキングを終えて帰った参加者に、今年はカレーライスを提供し、疲れを癒やしました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年5月26日（土） 9時～13時 参加者：90名 内容：・ゆったり散策コース 1km 中央公園→二河公園グランド→往復→中央公園 ・モデルコース（中央地区半周） 3.5km 中央公園→市役所→蔵本通→大和ミュージアム→二河川公園 →二河川沿い→呉中央学園→中央公園 ・健脚コース（中央地区一周） 6km 中央公園→二河公園→東片山町→辰川川沿い→市役所→蔵本通 →大和ミュージアム→二河川公園→二河川沿い→山手橋→中央公園 ※ゴール後、中央公園で防災訓練炊き出し（カレーライス）を実施</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の健康づくり部会（メンバー10人）が中心となって企画立案するとともに、他の4つの部会と民生委員、防犯パトロール隊、健康増進課職員（健康くれ体操）などが協働して運営に当たりました。</p>				
苦労した点	<p>平成28年より、まるごと中央地区と題して、中央地区を一週するコースを基本に設定しました。</p> <p>お年寄りや子どもの参加者が多く、交通量の多いまちなかのコースでの安全確保をしっかりと行うため、防犯パトロール隊を始め、まちづくり委員会メンバーが先導やコース管理などを行い、安心してウォーキングを行うことができるよう注意しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>準備運動（健康くれ体操）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>各コースへ向けいざ出発！</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>健脚コース（鉄のくじら館付近を進行中）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>防災訓練（カレーライス炊き出し）</p> </div> </div>				

番号	16	団体名	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会, 自治会連合会	代表者	宮中 勇 及び 松浦 泰三, 大畠 正
事業名	ふれあいまつり (夏まつり・盆踊り&カラオケ)			事業費	500,769円 ※H29年度実績
事業の目的	<p>今年度で第16回目を迎える「ふれあいまつり」には、各自治会が、おでんやカレーなどの夜店を出店し、子ども会による風船ヨーヨー釣りなどのゲームコーナー、そして、盆踊り（呉音頭など）も行われ、地域が一体となって開催する第8地区の夏の風物詩となっています。また、今年度はサロン参加者によるカラオケ大会や各団体が持ち寄った景品の抽選会も行われました。</p> <p>ふれあいまつりによって、自治会等のコミュニティ組織の一層の活性化が図られるとともに、盆踊りや呉音頭を次世代に引き継ぐなど、地域の伝統文化の継承と世代間交流が促進されています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年8月19日（日）18時（開会あいさつ）～20時30分 場所：二河川公園，二河川河川敷 内容：・夜店（二河川公園） カレー，おでん，焼きそば，ジュース・かき氷，ビール，フランクフルト，フライドポテト，枝豆，焼き鳥 ※全体のメニューは毎年同じだが，担当自治会がローテーションで交代 ・ゲームコーナー（二河川河川敷） 風船ヨーヨー釣り，くじ引き，お菓子釣りなど（子ども無料） ・カラオケ大会&盆踊り（二河川河川敷） サロン参加者によるカラオケ大会と呉音頭や炭坑節などで盆踊り ・各団体が持ち寄った景品による抽選会（二河川公園）</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会と地区自治会連合会および地区社会福祉協議会が協力して実施（子ども会，呉音頭普及部会，各自治会も参加）				
苦労した点	夜店で出す食べ物などのメニューを各自治会がローテーションで担当するため，材料の調達や準備方法などが毎年変わり，味や出店方法の統一に苦慮していたが，レシピ等を作成して次の自治会に引き継ぐことによって改善を図っています。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>【くじ引き】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【お菓子釣り】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【風船ヨーヨー釣り】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>子どもゲームコーナー（無料）</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>「ふれあいまつり」のはじまり</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【カラオケ大会】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>【盆踊り】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>夜店の食券売り場（義援金募金箱）</p> </div> </div>				

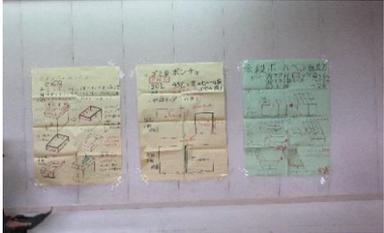
番号	17	団体名	第8地区 まちづくり委員会 及び 社会福祉協議会, 自治会連合会	代表者	宮中 勇 及び 松浦 泰三, 大畠 正
事業名	とんど祭り			事業費	
事業の 目的	<p>心ふれあうまちづくりの推進のため、まちづくり委員会と地区社会福祉協議会を中心に、地元青年団、消防団などの協力によって、地区内の恒例伝統行事として毎年開催しています。</p> <p>市中心部では「とんど」を行っているところは少なく、第8地区では、近隣地区からもしめ飾りを燃やしたい人たちを受け入れており、中央地域全体の「とんど祭り」として広がりを見せています。</p>				
事業 概要	<p>日時：平成31年1月20日（日）13時点火～15時30分 （16時30分片付け終了）</p> <p>場所：二河川公園, 二河川河川敷 参加者：約500人</p> <p>内容：とんど（二河川河川敷）</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年団を中心に、ワラや竹（16m）などの材料を調達して、1/13にとんどの「やぐら」を組みました。 会長あいさつの後、その年の干支生まれの人たち（年男年女）によってとんどに点火しました。 とんどでできた炭で餅などを焼いたり竹筒で酒を温めて無病息災を祈りました。 今年も、海外からの留学生や研修生（50名以上）が参加し、自分たちで書いた書き初めをとんどで燃やしたり、竹筒で温めた酒を飲んだりして日本の伝統文化を経験しました。 <p>模擬店（二河川公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> 第8区民生委員児童委員協議会が「ぜんざい」を振る舞いました。 				
企画・実 施した人	<p>・地区社会福祉協議会, まちづくり委員会, 自治会連合会, 地区民生委員児童委員協議会, 青年団, 消防団など</p>				
苦労した 点	<p>・とんどの「やぐら」組みや材料の調達など。</p> <p>・特にとんどの「やぐら」組みは、青年団を中心にとんど実施前から多くの時間と人手をかけて組み上げています。</p>				
活動 状況	<p>字がうまくなるように書き初めを燃やします 民児協の「ぜんざい」の振る舞い</p>  <p>勢いよく燃え上がるとんど</p> <p>開始前、続々と人が集まってきます</p> <p>とんどでできた炭で餅などを焼いて無病息災</p>				

番号	18	団体名	ふれあい広場三条の会	代表者	力安 鈴子
事業名	ふれあい広場三条運営事業（地域活動支援事業）			事業費	約770,000円
事業の目的	<p>誰もが気軽に集える「ふれあい広場」は、三条商店街の空き店舗をふれあい広場三条の会が借り受け、平成24年9月に開設。まちづくり委員会が家賃を支出、整備や運営はすべてふれあい広場三条の会のボランティアスタッフが当たる手作りの施設です。</p> <p>高齢者には、地域の中での人とつながり、安心して暮らしていくための「よりどころ」として利用され、放課後には子どもたちが集う、笑い声が絶えない憩いの場になっています。日常利用だけでなく季節毎のイベントも開催され、まちづくり計画に掲げた地域課題を解決するための各事業をこの広場で実施し、「住んでよかった、いつまでも住み続けたい両城・三条地区」にしていきたいと頑張っています。</p> <p>何よりもボランティアスタッフの皆さんが、いきいきとやりがいを感じ、楽しんで運営にあたっておられます。</p>				
事業概要	<p>場所：呉市三条2丁目15-20「毛糸きくや」跡の空き店舗 （平成24年9月8日オープン）</p> <p>活動時間：毎週月曜日～土曜日（日曜・祝日は休所日）10時～16時30分</p> <p>面積：（間口）3m×（奥行）12m＝約36㎡（約11坪） 家賃 3万円/月</p> <p>利用料金：無料（お茶無料、コーヒー100円、かき氷100円（夏季限定）で提供） 誰でも無料で利用できる無料休憩所</p> <p>運営体制：1日3人のボランティアにより運営（合計19人役/週）</p> <p>メンバー：三条まちづくり委員会会員、各自治会関係者、民生児童委員、赤十字奉仕団会員、運動推進委員、一般住民など</p> <p>利用実績：最近の利用人員 月平均 500人、一日平均 25人 ・平日はお茶や弁当をいただきながらの気まぐれおしゃべり会 ・男性陣は囲碁や将棋の腕試し ・放課後と土曜日は、子ども（小学生）の居場所</p> <p>イベント：4月…お花見会、6月…七夕飾りづくり、7月…第6回 夏祭り、10月…ハロウィン、12月…クリスマス会、2月…節分豆まき 3月…震災を忘れないために11コンサート（毎年開催）</p> <p>その他、定期的に「うた声広場」、「らくらく体操教室」、「手芸教室」などを開催</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい広場三条の会 ・誰でも（特に高齢者）が立ち寄れる場所を切望していた地域の有志数名 ・ふれあい広場を開設するにあたり、「ふれあい広場三条の会」を設立 ・まちづくり委員会から財政支援（家賃と平成25年度限定で空調やパソコン整備）と人的支援を受けています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり委員会との協力体制の構築 ・利用者の増加や事業の多様化に伴い、スペースの手狭感が増しています。 ・常駐するボランティアスタッフの確保（後継者の確保） ・自主財源の確保 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>第6回ふれあい広場夏祭り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>スーパーボールすくいを楽しむ子ども達</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>クリスマス会（有志によるハンドベル演奏）</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>みんなで昼食（ハヤシライス）</p> </div> </div>				

番号	19	団体名	両城・三条地区自主防災会	代表者	山上 文恵
事業名	地域住民・両城小学校生徒合同防災訓練			事業費	約135,000円
事業の目的	<p>・毎年、小学生から高齢者までの各自が主体性を持って、消火器や水消火器による消火訓練、煙中体験、ロープ結索訓練、人口呼吸等の救急・救命訓練、簡易担架による搬送訓練など5つの訓練に取り組み、災害時における自助・共助での地域力向上を図っています。</p> <p>・急傾斜地を多くかかえるまちだけに、防災をまちづくりの柱の一つに位置づけ、地域のみinnで災害時の対応の問題点を洗い出すことで、より多くの命が助かるよう、住民の危機管理意識を育てています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年10月14日（日） 9時～12時 参加者：両城小学校生徒及び教諭 125名、地域住民 112名、 消防署・消防団・市役所 25名の計262名</p> <p>訓練内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 次の訓練をグラウンドで実施 <ol style="list-style-type: none"> 水消火器とボード板を使用した消火訓練 鉄棒とロープの非常時結索訓練 土のう作成訓練 次の訓練を体育館内で実施 <ol style="list-style-type: none"> 心肺蘇生訓練用人形をつかっした心臓マッサージ等の救急・救命訓練 棒と毛布の簡易担架による搬送訓練 次の訓練を図書室内で実施 <ol style="list-style-type: none"> 火災時の煙中体験 				
企画・実施した人	両城・三条地区自主防災会				
苦勞した点	<p>・自治会と学校を中心に広報して、小学生から高齢者まで多くの人に参加してもらっているが、若い人では小さな子どもをもつ母親は参加しているが、父親は参加していないという状況が見られた。</p> <p>・いろいろな人に体験して訓練してもらうことにより、災害時の対応にゆとりがでるため、次回はさらに新規の参加者を増やしていきたい。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ロープ結索訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>土のう作成訓練</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>救急・救命訓練</p> </div> </div>				

番号	20	団体名	三条地区まちづくり委員会	代表者	山上 文恵
事業名	八畳岩登山（登山道整備，登山）			事業費	14,101円 （整備費，保険等）
事業の目的	<p>地域の裏山にあって，かつて地域の人達が慣れ親しんでいた「八畳岩」への登山道が，人の手が入らないようになってから荒れ果てていました。</p> <p>7年ほど前からまちづくり委員会では，消防団の協力を得て，八畳岩までの登山道を整備し，参加者を募って春に八畳岩までの登山を行っています。</p> <p>今年度は，春に予定していた登山は雨天中止となったため，秋に登山道の整備を行いながら，八畳岩まで登山を行いました。八畳岩にハチの巣があり，八畳岩からの景色が見られなかったのが，残念でした。</p> <p>みんなで登る八畳岩は，地域のすばらしさの再発見と地域住民の絆づくりに貢献しています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年11月18日（日）10時（集合）～12時30分（下山）</p> <p>参加者：20名</p> <p>内容：八畳岩登山道整備・登山事業</p> <p>登山道を整備をしながら八畳岩に登り，後にみんなで昼食を食べた。 （消防団も協力）</p> <p>【集合】 両城小学校正門に集合 → 保険申込（記入）</p> <p>【整備・登山】 どんぐりの木を使い階段作りや清掃，除草などをしながら登山</p> <p>【八畳岩付近】 ハチの巣があり，八畳岩では自分たちの住むまちを眺望できなかった</p> <p>【下山】 足元に気をつけながら，下山して昼食</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり委員会内の推進部会</p> <ul style="list-style-type: none"> まちづくり委員会内にまちづくり計画に掲げる各種事業を実施するための部会を設置し，部会長を中心に事業を実施しています。 八畳岩登山は，地域内の良さ（お宝）を再発見し，それを維持，保存するとともに，広く住民に周知し，自分たちの住む地域に対する愛着を深める事業を展開しています。 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> 登山道整備箇所が多く，全体の整備に時間がかかっています。年々環境が整ってきたと思っていましたが，階段にした足場の木が崩れていたり，新しく足場が必要な場所があったりとさらに整備が必要となっています。 整備機材や材料などの運搬が大変でした。 整備をしながらの登山・下山であるため，負担が大きく大変でした。 				
活動状況	 <p style="text-align: center;">山頂まで登山を行いながら登山道整備</p>				

番号	21	団体名	川原石地区社会福祉協議会および 川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区敬老会			事業費	333,541円 ※H29年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、川原石地区まちづくり計画書にある「各種催し等を総合的に推進できる体制づくりに努める」とともに「世代間交流の場の創出に努める」を目標に、各団体をはじめとした協働の輪を少しずつ広げながら、敬老者に少しでも喜んでいただける敬老会が開催できるよう努めています。</p> <p>今年度も、地元中学生が司会進行するなど、地元の団体やグループ、幼稚園、小中学校、公共施設等が協力したことにより、地域全体の団結力向上、体制づくりにも役立っています。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年9月17日（月・祝）9時30分～12時45分 ※前日準備：13時～</p> <p>場所：二川まちづくりセンター2階ホール</p> <p>敬老会招待者：879名（うち、米寿者：39名） 来場者：約400名（うち、敬老会招待者：183名）</p> <p>内容：式典①開会のことば ②国歌斉唱 ③物故者黙祷 ④主催者代表あいさつ ⑤来賓祝辞および来賓紹介 ⑥児童代表あいさつ ⑦祝電披露 ⑧米寿者記念品贈呈 ⑨被招待者謝辞 ⑩閉会のことば</p> <p>余興（アトラクション）ほか ①呉警察署「特殊詐欺防止について」 ②「琴、三絃講座」発表 ③「両城中学校音楽部・文化活動部」歌 ④「民踊講座」発表 ⑤「ハーモニカ倶楽部 大和」発表 ⑥「安来節保存会江田島能美支部」発表 ⑦「大正琴講座」発表 ⑧お楽しみ抽選会 ⑨「聖慈幼稚園園児」踊りと歌</p>				
企画・実施した人	<p>・地区社会福祉協議会とまちづくり委員会を中心とした地元各団体が協力して実施 ※地元の幼稚園や小中学校、警察署、二川まちづくりセンターなども全面協力</p>				
苦労した点	<p>単独地区社協の開催のため派手な行事はできないが、各団体やグループ、幼稚園、小中学校などが協力し、手作りで地元開催ならではの敬老会を行うことができました。</p> <p>また、祝う者（地域の子どもやおとなの人々）も祝われる者（招待されたお年寄り）も、どちらも笑顔で本当に楽しそうで、中学生の歌「ふるさと」では自然と会場全体で合唱が始まるなど、目標の一つである「世代間交流」が十分できました。</p>				
活動状況	<p>児童代表（小学生）あいさつ</p>  <p>「聖慈幼稚園園児」踊りと歌</p>  <p>舞台上と客席 2組に分かれて ダンス</p>  <p>中学生が司会進行と パンフレットなどの配布</p>  <p>「両城中学校」歌</p>  <p>「琴、三絃講座」</p>  <p>「民踊講座」</p>  <p>「大正琴講座」</p> <p>【「二川まちづくりセンター講座」の発表】</p>				

番号	22	団体名	川原石地区自主防災連合会および 川原石地区まちづくり委員会	代表者	川畑 勝之
事業名	川原石地区合同防災訓練			事業費	168,928円 ※H29年度実績
事業の目的	<p>川原石地区では、その地形の特性から、土砂災害発生の大危険性が大きいと考え、例年、土砂災害に備える活動に取り組んでいます。</p> <p>今年度も、大雨による土砂災害を想定し、身を守るために必要な知識や技術を習得するために、自主防災アドバイザーからの防災講話や初期消火訓練、煙中体験、炊き出し訓練など幅広い防災活動の体験を通じて、災害に備える心構えを養うべく訓練を実施しました。</p> <p>7月豪雨による災害があったため、参加数が7割増加するとともに、参加者全員、例年にもまして真剣に取り組んでいました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年11月25日（日）9時30分～12時</p> <p>場所：二川まちづくりセンター</p> <p>内容：(1) 防災講話：広島県自主防災アドバイザーによる防災講話</p> <p>(2) 防災訓練： ①初期消火訓練 ②救急講習 ③土のうづくり ④煙中体験 ⑤炊き出し訓練 ⑥家庭でできる防災用品の作成（簡易トイレ、段ボールベッドなど）</p> <p>参加者：地域住民約300名が参加</p>				
企画・実施した人	川原石地区自主防災連合会と川原石地区まちづくり委員会が中心となり、川原石地区赤十字奉仕団等の協力、消防局予防課、西消防署及び消防団湾岸分団の指導により実施しました。				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の災害に即した防災の理論と実践を学ぶ訓練にするため、どのような内容にするかを綿密に話し合ったこと。 ・参加者に「いざというときに正しく素早い行動で命を守り、周囲の人と協力してどのように災害を未然に防ぐか」を自分の身近な課題として分かりやすく伝えられるような訓練にすること。 ・本年度は7月豪雨災害の影響でグラウンドが使用できなかつたため、砂を使った土のう作成や車両展示、キッズコーナーなどができなかつたが、断水時や長期避難時に役立つ段ボール等を利用した防災用品作成を行い、より実践的な訓練ができた。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>自主防災アドバイザーによる防災講話</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>簡易トイレ</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>段ボールベッド</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>ゴミ袋ポンチョを被れば安心です</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>20人くらいは乗れますよ</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">【家庭でできる防災用品の作成】</p>				

番号	23	団体名	第8地区(当番), 三条地区 および 川原石地区自治会連合会	代表者	大島 正, 山上文恵 および 川畑 勝之
事業名	第8地区・三条地区・川原石地区「第22回町民運動会」			事業費	約320,000円
事業の目的	中央地域西部にある第8地区, 三条地区, 川原石地区の地域住民が互いに連携・協働して合同町民運動会を行い, いつまでも健康で住みやすい地域環境の構築を目指すとともに, 地域間の連携や交流を促進し, 広範囲でのまちづくりに関する取り組みに繋げていくことを目的としています。				
事業概要	<p>日時:平成30年9月23日(日・祝)8時30分～</p> <p>場所:マリンパーク川原石</p> <p>内容:開会式 ・開会宣言 ・主催者あいさつ ・来賓祝辞 ・選手宣誓 ・準備体操</p> <p>公開演技(地元幼稚園児・こども園児による遊戯)</p> <p>競技 ①黄金の足 ②50m競争 ③ゲートはどっち ④小学生玉入れ ⑤大玉ころがし ⑥パン食い競争 ⑦未就学児かけっこ ⑧中学生以上玉入れ ⑨二升一杯 ⑩バケツリレー ⑪小学生リレー ⑫混合リレー</p> <p>閉会式 ・表彰 ・あいさつ ・閉会宣言</p> <p>参加者:約1,200人</p> <p>成果:・二河川以西の中央地域に位置し, 生活文化圏も重なっている3地区が連携して合同町民運動会を開催することでスケールメリットを活かすとともに, 防災訓練を兼ねたバケツリレーなどにより, 住民相互の親睦と絆を深めることができた。 ・子どもから大人まで楽しめる競技種目を実施したことにより, 3地区内の未就学児や小・中学生から高齢者まで幅広い世代間交流にも繋がった。</p>				
企画・実施した人	<ul style="list-style-type: none"> ・第8地区, 三条地区, 川原石地区各自治会連合会(主催) ・呉市中央西体育協会(主管) ・第8区, 第9・10区各民生員児童員協議会 ・第8区東老人クラブ連合会 ・第8地区, 両城三条地区, 川原石地区各健康づくりのための運動普及推進協議会 				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者も青年が少なくなり高齢化している。 ・前日のテント張りや当日の準備に多くの人が集まりにくく時間がかかった。また, 役員も高齢者が多くなり力仕事には苦慮しているが, 役割を分担し助け合うことで実施できた。 				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>公開演技 (地元園児による遊戯)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>小学生玉入れ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>バケツリレー (防災訓練)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <p>小学生リレー</p> </div> </div>				

番号	24	団体名	中央地域成人式実行委員会	代表者	土本 敏明 (平成30年度)
事業名	中央地域成人式			事業費	975,000円
事業の目的	今年で10年目となる中央地域の成人式。新成人が生まれ育った地域の方々（祝う人）と新成人（祝われる人）の「顔と顔の見える」・「より心の通った」ものに移行・発展させていくため、本庁管内は9つの自治会連合会と海上自衛隊呉海曹会が合同で実行委員会を立ち上げ、地域協働課や文化振興課などの行政も一緒になって協働という形をとりながら開催しています。				
事業概要	<p>日時：平成31年1月14日（月・祝） 11時～13時</p> <p>場所：くれ絆ホール（式典及びはたちの大抽選会）， 呉市役所1階シビックモール（はたちの同窓会ほか） 及び中央公園噴水前広場（地域の贈り物）</p> <p>内容：</p> <p>(1) くれ絆ホール 参加者数 280人（男146名，女134名） 参加率60.6%（自衛隊を除く参加率84.2%）</p> <p>①記念式典（成人リーダーの司会進行，記念品・花束贈呈，はたちの誓いなど） ②はたちの大抽選会（成人リーダーの企画・進行で開催される抽選会）</p> <p>(2) 本庁1階シビックモール</p> <p>①はたちの同窓会（なつかしい学友や恩師を囲んでの同窓会） ②記念撮影コーナー（常設） ③誓いのボード（新成人が，はたちの誓いをボードに書き込む・常設） ④「着付け110番」（ボランティアによる着付け支援）</p> <p>(3) 中央公園噴水前広場</p> <p>①地域の贈りものブース（各地区や自衛隊からの食べ物でのおもてなし） ・その他 地区住民や市立呉高等学校生徒ボランティアによる受付，ステージ及び模擬店開催等の支援，ボランティアによる模擬店支援など</p>				
企画・実施した人	中央地域成人式実行委員会 (中央地域の9つの自治会連合会，海上自衛隊呉海曹会，呉市)				
苦勞した点	新成人代表を企画段階からスタッフに加え，式典での役割や式典後のイベント内容について，何度も会議を開催したが，クラブ活動・アルバイト等で多忙なため全員が出席することが少なく，無事に終わるのか最後まで不安だった。				
活動状況	 <p>式典の様子（主催者挨拶）</p>		 <p>式典の様子（主催者挨拶）</p>		
	 <p>記念撮影コーナー</p>		 <p>地域の贈り物ブース</p>		

番号	25	団体名	詩歌創作大会実行委員会	代表者	塚水尾 陽子
事業名	第28回 詩歌創作大会			事業費	約100千円
事業の目的	郷土に伝わる古歌「よし浦のさと」（藤原為時（紫式部の父）が詠んだ歌）の碑が町民グラウンド公園内に建設されています。これを地区の文化財として大切に守り伝えるとともに、小・中学生による詩歌創作大会を開催し、青少年・児童の情操教育並びに、文化の向上の一環を目的としています。				
事業概要	<p>日時：平成30年5月12日（土）</p> <p>内容：詩歌創作とお茶席（抹茶）体験</p> <p>(1) 児童及び生徒による短歌づくり 吉浦の自然にふれ、感じたままを5, 7, 5, 7, 7の言葉で表現する。 →後日、審査員会にて優秀作を選び、表彰する。</p> <p>(2) お茶席 お茶の先生の指導のもと、お茶席を体験。抹茶と饅頭で楽しく過ごす。</p> <p>参加者：吉浦小、吉浦中の児童及び生徒 約80名 保護者、運営スタッフ等 約120名 合計 約200名</p>				
企画・実施した人	詩歌創作大会実行委員会（吉浦地区の民児協ほか7団体で構成）				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は当日、雨天のため、まちづくりセンターに会場を変更しました。毎年天候状況に左右されています。 ・小学校では高学年で短歌を学習することもあり、低学年にとって創作は難しいことかもしれませんが、子供らしく、見たまま、感じたままを素直に表現するように、また、中学生には「吉浦」という言葉ではなく、「吉浦」とわかる言葉や語句等での表現に努めるよう指導しています。 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <h2 style="text-align: center;">古歌「よし浦のさと」</h2> <p style="text-align: right;">藤原為時 作</p> <p style="text-align: center;">「かくまでに、思はざりしに、来てみれば いと住みやすき、よし浦のさと」</p> <p>*吉浦の吉は、豊臣秀吉が名付けたとの いわれがあります。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>開会式</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>お茶席</p> </div> </div>				

番号	26	団体名	吉浦まちづくり委員会	代表者	尾茂田 孝信
事業名	第13回 吉浦地区防災訓練			事業費	約100千円
事業の目的	吉浦地区全体で防災活動の機運を高め、楽しみながら消火活動や避難の模擬体験をし、さらなる地域の防災意識の高揚を図ることを目的として、平成18年度から継続して訓練を実施しております。				
事業概要	<p>日時：平成30年10月21日（日） 10時～12時 ※準備は7時30分～</p> <p>場所：吉浦小学校</p> <p>内容：(1) 第1部（避難・誘導訓練） ・避難場所（吉浦各地区から吉浦小学校へ徒歩での避難開始）《地区住民約200名》 （吉浦小学校へ避難者を誘導）《自治会長，民生・児童委員》</p> <p>(2) 第2部（実地訓練） ア 初期消火訓練（消火器による消火訓練） イ 避難訓練（災害時の非常持ち出し品の訓練） ウ 応急救護訓練（重傷者への応急処置，AED使用方法の講習） エ 防災講話</p> <p>(3) 第3部（給食・給水訓練） ・吉浦女性会による炊き出し（むすび，みそ汁等） ・民生・児童委員による災害備蓄食品（お茶，災害備蓄食品）の配布，試食</p>				
企画・実施した人	平成18年度に、吉浦地区自治会連合会が消防庁の安心安全ステーション整備事業のモデル地区に選ばれ、これを機に吉浦地区全体で防災活動の機運を高めていくために、西消防署や地元消防団の御指導をいただきながら、吉浦女性会、民生・児童委員協議会をはじめとする各種団体の協力のもと事業を始めました。				
苦労した点	炊き出しの迅速性を高めるためにカセットコンロを導入しましたが、参加者の高齢化に伴い、機器の運搬等に時間と手間がかかります。若い世代の運営スタッフ等への積極的な参加が求められています。				
活動状況	<div style="text-align: center;">  <p>応急救護訓練</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>初期消火訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>炊き出し訓練（味噌汁配布）</p> </div> </div>				

番号	27	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	第22回 警固屋さくら祭			事業費	471,811円
事業の目的	警固屋地区における地域まちづくりのシンボリックイベントとして、地元住民を中心に自立した運営を進めることにより、地域住民のまちづくりへの参画及び地域内外の交流の促進を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時：平成30年4月1日（日） 10時～14時 場所：警固屋まちづくりセンター駐車場 内容：①イベントの部 【ステージ】 出演：日新製鋼シルバーサウンズ，警固屋みらい保育園，消防団はしご隊，鍋保育所，警固屋小学校，鍋ひよっこ踊り同好会，県民踊レイフラワーオハナ警固屋，鍋よっしゃこい踊同好会，メープルカイザーショー，呉氏のキッズ隊，清盛太鼓 【子ども関連】 さくら茶屋（警固屋中学校生徒による野点），警固屋学園コーナー ②売店の部 地元団体など計11の飲食ブース及び物販ブースを出店 ③フリーマーケットの部 計16区画のマーケット出店 ④コーナーの部 もち（消防団），マツダ車展示（呉郷心会），健康管理（警固屋地区運推），花の苗無料配布</p>				
企画・実施した人	まちづくり協議会内に設置されている企画部会（部会員10名，オブザーバー5名）が，イベントの企画立案から実施までを担当。この他にも，自治会や女性会，民生委員協議会など地元団体のメンバーが協働し設営から運営，撤去までを行いイベントを盛り上げました。				
苦労した点	ステージや出店等もマンネリ化しており，新しい出し物なども検討しているが，予算も少なく，天候にも左右されやすいので，なかなか実現できない。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>日新製鋼シルバーサウンズ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キャラクター呉氏のキッズ隊 呉氏Jr.</p> </div> </div>				

番号	28	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	農業体験交流事業			事業費	35,000円
事業の目的	<p>警固屋小学校の1年生・ひまわり学級を対象に、農作業体験や収穫体験をさせるとともに、焼き芋を作り子どもたちに食べてもらうことで、地産地消や食育について学ぶ機会を設ける。</p> <p>また、地域住民にも事業へ参加してもらうことで、子どもたちと地域住民の交流促進を図る。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年11月29日（木） 9時～11時</p> <p>場所：警固屋6丁目11番付近の畑</p> <p>参加者：46名（1年生児童・教諭・まち協役員・農協職員・地域ボランティア）</p> <p>内容：野菜の収穫体験 焼き芋・豚汁の試食 農作業体験（耕運機等の使用体験）</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の構成団体である警固屋11区の自治会長が主体となって企画立案し、当日はまち協理事，農協職員，警固屋11区自治会有志などの協力をいただいて実施しました。</p>				
苦労した点	<p>警固屋11区自治会の方が積極的に参加して運営してくれたため、終始地域の方主導で事業を進めることができました。</p> <p>種植え後の畑のお世話は、ボランティア精神旺盛な11区の自治会長が主になっていただき、警固屋小学校，警固屋まち協の方々から感謝されています。</p>				
活動状況	   				

番号	29	団体名	警固屋まちづくり協議会	代表者	前山 薫
事業名	地域貢献人材発掘育成事業			事業費	18,818円
事業の目的	警固屋地区のイベントなどへの参加を通じ、地域まちづくりに貢献してくれる新たな人材の発掘・育成を図ることを目的として実施しております。				
事業概要	<p>日時：平成30年7月8日（日）9時30分～（長郷浜清掃） ※7月豪雨災害のため中止 平成30年7月17日（月・祝）8時30分～9時30分（宇佐神社） 平成30年10月13日（土）8時30分～9時30分（貴船神社） 平成30年11月18日（日）8時30分～13時（旧鍋小）</p> <p>場所：長郷浜…警固屋9丁目 長郷浜の砂浜 宇佐神社…警固屋4丁目 宇佐神社境内及び近辺 貴船神社…警固屋8丁目 貴船神社境内及び近辺 旧鍋小…的場4丁目 旧鍋小校庭</p> <p>参加者：長郷浜…中学生32名，教員2名の参加申込みがあるが 中止 宇佐神社…小学生15名，中学生29名，教員11名，自治会役員等30名 貴船神社…小学生26名，中学生11名，教員10名，自治会役員等20名 旧鍋小…中学生13名，教員4名，自治会役員等30名</p> <p>内容：行事に興味を持ってもらうため，秋祭り前の幟立て等を行う際に準備風景を見ながら小中学校の児童生徒にも清掃活動に参加してもらう。</p>				
企画・実施した人	まちづくり協議会理事役員の方が企画し，この他にも，警固屋小中学校，自治会などに協力していただきました。				
苦労した点	学校行事では無く地域行事として任意参加であるため，どの程度の参加協力が得られるか不安でしたが，多くの方が参加してくれて有意義な事業になりました。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>宇佐神社 清掃活動</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>宇佐神社 清掃活動</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>貴船神社 清掃活動</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>貴船神社 清掃活動</p> </div> </div>				

番号	30	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	第41回今昔子どもふれあい大会			事業費	700千円
事業の目的	<p>阿賀のみんなが集い参加して盛り上がっていただける町民の祭りを開催。 阿賀地区では昭和40年頃から、女性会・老連・子ども会が合同で「今昔子ども創作大会」を開催してきた。平成23年度から、この大会を阿賀町全体の祭りにするため、阿賀まちづくり推進協議会の主催とし、阿賀の地域団体全てが参加し『今昔子どもふれあい大会』として開催している。</p>				
事業概要	<p>今の子どもと昔の子どもが集い体験交流を深める事業として『今昔子どもふれあい大会』を実施。 阿賀まちづくり推進協議会の各団体、アカデミア参加学校等、地元企業の協力によりイベントや屋台、ステージアトラクションなどを実施した。</p> <p>内容：</p> <p>イベント プラバンづくり、マスコットづくり、書道体験、アートバルーン、紙ひこうき、豆つかみ競争、紙ずもう、どんぐりコマ、折り紙、飲酒運転体験メガネ、交通安全グッズ配布、ものづくり体験ほか</p> <p>屋 台 コーヒー&クッキー、焼きそば、うどん、フライドポテト、綿菓子、ポップコーン、中華おこわ、カレーライス、くじびき、ジュース</p> <p>ステージ 吹奏楽演奏（市立呉高等学校、広島文化学園大学）、バンド演奏（県立呉工業高等学校）、よさこいソーラン（阿賀中学校・YAMATOくれびと）</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	参加団体が多いため、事前の連絡調整の徹底が必要であった。				
活動状況					

番号	31	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	平成30年度阿賀地区「成人の集い」			事業費	400千円
事業の目的	阿賀地区在住、または阿賀地区出身の新成人を祝うため、記念式典及びはたちの同窓会を実施する。				
事業概要	<p>日時：平成31年1月14日（月・祝）11時～13時 場所：阿賀まちづくりセンター3階ホール及びロビー 内容：第1部 記念式典 はたちの誓い（新成人より男女各1名） 記念写真撮影（恩師の先生を交えて撮影） アトラクション（市立呉高校による吹奏楽演奏） 第2部 はたちの同窓会 小中学校の同級生や恩師の先生を囲んでの同窓会 塩谷自治会が祭りで使用した太鼓の展示 中学校卒業時のビデオと祭りのビデオの放映 写真立ての記念品と一緒に新成人に記念写真を配布 お茶・お菓子の提供</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会				
苦労した点	阿賀まちづくり推進協議会が実行委員として開催しており、当日の各団体の役割分担や、今年は祭りで使う太鼓を展示するなど新たな取り組みを行いながら、式典からはたちの同窓会への移行がスムーズになるよう工夫した。				
活動状況					

番号	32	団体名	阿賀まちづくり推進協議会	代表者	加藤忠二
事業名	まちづくり若者提案事業			事業費	200千円
事業の目的	<p>阿賀のまちづくりに関心を持っている若い人たちの発想により提案されたまちづくり事業を実施する。 地域づくり・まちづくりに関心を持つ若者の発掘と波及効果により若い世代の人たちにまちづくりに興味・関心を持ってもらう。</p>				
事業概要	<p>メンバー募集(随時), 会議の開催(平均月2回程度) 現在, メンバーは呉高専の学生を中心に約20名, また原小学校の児童も企画・運営に参加し, 交流をはかっている。 若者の自由な発想で阿賀を元気にする方策を話し合い, 事業を企画し提案する。協議会にてプレゼンテーションを行い, 承認を受けたうえで事業を実施する。</p>				
企画・実施した人	阿賀まちづくり推進協議会, 呉工業高等専門学校 (AGAiN), 原小学校				
苦労した点	仕事や学業などそれぞれの事情があり, 会議に全員がそろうことは難しかった。阿賀の疑問を地域から募集したがなかなか集まらなかった。				
活動状況	<p>阿賀に関する疑問を地域の人から集め, それらをAGAiN(呉工業高等専門学校)メンバーと原小学校6年生が各種調査等を実施して解決, 冊子「阿賀のQ&A」にまとめて阿賀地区の全世帯に配布する活動に取り組みました。この企画は, 中国新聞ファミリーくれにも取り上げられました。また, この「阿賀のQ&A」のお披露目を開催し, クイズ大会や屋台販売を実施するなど, 地域交流の場を演出してくれました。</p> 				

番号	33	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第45回広子ども祭			事業費	1,900千円
事業の目的	広地区の子どもたちの健全な育成を願って地域の大人と子どもが一体となって開催する伝統行事。				
事業概要	<p>日時：平成30年5月13日（日）11時～16時</p> <p>場所：広公園，白岳小学校</p> <p>内容：①交通安全おみこしパレード（広商店街～広公園）</p> <p>②広公園会場／ 夢ふうせん，遊び広場</p> <p>③白岳小学校会場／ 消防コーナー，リサイクル・エコロジー学習コーナー</p>				
企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会</p> <p>共催：広地区社会福祉協議会，呉市赤十字奉仕団広分団</p> <p>主管：広子ども祭実行委員会，広子ども会連合会</p> <p>※その他，協力・協賛団体あり</p>				
苦労した点	関係団体との連絡調整，雨天中止時の対応				
活動状況	雨天のため中止				

番号	34	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第70回広地区教育祭			事業費	2,900千円
事業の目的	<p>広村の先人が遺した旧広村公会堂前（現・広小学校）にある「教育第一」の石碑の精神を受け継ぎ、昭和24年から毎年開催。「学ぶ・創る・楽しむ・夢がひろがる」をスローガンに、世代を問わず、文化行事からスポーツまで地域を挙げて行う伝統行事。</p>				
事業概要	<p>11月のおよそ1か月間をかけて、作品展示や舞台発表、教育功労者表彰式、交流広場などを開催。また、関連事業として、音楽祭、合唱祭、歴史講演会といった特色ある文化行事やスポーツ大会を開催している。</p> <p>今年度は、広まちづくり推進協議会設立15周年記念事業として、羽佐竹神楽団の公演を開催した。</p>				
企画・実施した人	<p>主催：広まちづくり推進協議会 共催：呉市、広地区社会福祉協議会、呉市赤十字奉仕団広分団 主管：広地区教育祭実行委員会ほか ※イベントごとに実行委員会を設立 後援：呉市教育委員会 ※その他、協力・協賛団体あり</p>				
苦勞した点	<p>関係団体との連絡調整，参加者（団体）の事前準備</p>				
活動状況	<p>期間中の延来場者数 約14,000人</p> <p>■第8回広地区音楽祭 11月4日（日） 広地区中学・高校・大学の吹奏楽部と社会人バンドが集う音楽イベント。地域の一体感の創出と技術のレベルアップを目的に、定着したイベントになっている。</p> <p>■教育功労者表彰式 11月23日（金・祝） 広地区の教育文化の向上に寄与した個人・団体を表彰する式典。今年は個人10名と1団体を表彰し</p> <p>■羽佐竹神楽公演 11月23日（金・祝） 広まちづくり推進協議会設立15周年記念事業として、安芸高田市の「羽佐竹神楽団」を招き、公演</p> <p>■第7回広地区合唱祭 11月25日（日） 広地区のコーラスグループの交流、夢や希望を与えるイベントとして文化の向上に寄与している。</p> <p>■その他、児童・生徒の作品展、講座・サークル活動の発表、高校生による大書揮毫、歴史講演会「愛ひろ心」、交流広場、健康コーナーなど、期間中はたくさん関連行事を開催している。</p>				



番号	35	団体名	広まちづくり推進協議会	代表者	吉井 光廣
事業名	第15回広地区クリーン活動			事業費	110千円
事業の目的	小・中学校を中心とした年末のクリーン活動を地域が一体となって実施することで、世代間交流を促進し、まちの環境美化意識を啓発する。				
事業概要	<p>日時：平成30年12月5日（水）13時～16時 場所：広地区小学校，中学校（集合・解散場所） 内容：学校区ごとに実施する清掃活動。各児童・生徒をはじめ地元市民団体も参加し、一緒に清掃活動に取り組むことで、学校区域内の明るい環境を整備するとともに、地域のつながりを持つことで、登下校等の安心と安全につながっている。</p>				
企画・実施した人	<p>広まちづくり推進協議会・広地区小中学校（合同事業） 協力：地区自治会等（合同清掃），広警察署（安全パトロール）， 呉市環境業務課（ゴミ収集）</p>				
苦労した点	<p>学校によっては、地区自治会等との連携がうまくとれていない学校があり、調整するのに苦労した。</p>				
活動状況					

番号	36	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	仁方地区自主防災会合同避難訓練			事業費	約75,000円
事業の目的	仁方地区の地域防災避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通じて、一人一人が安全・確実に避難するための避難通路、避難場所、一時避難場所などを確認しながら、防災意識の高揚を図ることを目的とし、11自治会が連携し仁方地区自主防災会合同避難訓練を実施しました。				
事業概要	<p>日時：平成30年5月26日（土） 9時30分～11時30分</p> <p>場所：仁方小学校（命かがやく広場・体育館）</p> <p>内容：①各地区訓練場所の区域内に配置した消防団車両及び消防団員により「避難指示の発令」の広報を実施</p> <p>②自治会・自主防災会組織，東消防署，消防団が連携協力して，避難の呼びかけや避難誘導を行いながら，各地区指定場所に集合し，仁方小学校に避難</p> <p>③仁方小学校に到着後，東消防署仁方出張所の指導により各自治会単位で煙中体験を実施</p> <p>④応急救護訓練「救急蘇生訓練」（東消防署仁方出張所）</p> <p>⑤ヘラセオン「疑似体験」（呉市防災センター）</p> <p>⑥防災講話（広島県自主防災アドバイザー）</p> <p>「避難行動について」</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会と同地区自主防災会が中心となり企画しました。				
苦労した点	災害時において，どのように対応するか，各地区の実情に即した訓練内容の検討				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヘラセオン（疑似体験）</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>救急救護訓練</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防災講話</p> </div> </div>				

番号	37	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	「春が楽しみ！チューリップ」事業			事業費	約290,000円
事業の目的	チューリップを育てて、まちに彩りと潤いを与え、人と人がつながることによって、魅力ある「仁方のまちづくり」を推進するものです。				
事業概要	<p>各自治会、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等にチューリップの球根、培養土等を配布し、プランター等に植えて、人が集まり、多くの人から見える場所で育てていくものです（入学式頃に仁方町の各所で一斉にチューリップが開花する。）。</p> <p>球根、培養土の配布…9月中旬 各自治会、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等に球根及び培養土を配布</p> <p>球根の植付け時期…10月初旬～11月初旬 プランターや公園等に植付け</p> <p>配布球根数…5,800個（赤、ピンク、黄、白の4色） *配布球根のほか昨年度育てた球根も活用しました。</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会が中心となって、小・中学校、保育所、認定こども園、福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	この事業を継続するための予算の確保（広島県みどり推進機構の助成を活用）				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>西町自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>桧橋自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中筋自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大東自治会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>仁方小学校</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>皆実保育所</p> </div> </div>				

番号	38	団体名	仁方町まちづくり推進協議会	代表者	土岡 郁男
事業名	地域交流懇談会			事業費	約8,000円
事業の目的	「仁方っていいなあ。そんなまちづくり～いつまでも、いきいきと過ごすために～」をテーマに講演、意見交換等を通して考え、住みよい仁方のまちづくりの取組の一助とするものです。				
事業概要	<p>日時：平成31年1月26日（土） 10時～11時30分 場所：仁方まちづくりセンター3階ホール テーマ：仁方っていいなあ。そんなまちづくり ～いつまでも、いきいきと過ごすために～</p> <p>内容：①開会式 ②発表 施設の事業内容、支援の取組 社会福祉法人呉同済義会地域相談センター仁風園 施設長補佐 中之前勝義さん 医療法人ほほえみ会デイサービスセンターほほえみ呉東 主任 丸山真史さん 社会福祉法人三篠会福祉施設仁方 施設長 松村裕介さん ③演題 「地域で取り組む介護予防」 講師 呉市介護保険課 専門員 矢村里美さん ④閉会式</p>				
企画・実施した人	仁方町まちづくり推進協議会役員が中心となって企画し、仁方にある福祉施設等の協力により実施しました。				
苦労した点	・発表者3名と講師の発表内容と講演内容の調整				
活動状況	 <p>施設の事業内容、支援の取組についての発表</p>				
	 <p>講演</p>				

番号	39	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	「宮原ホタルの里鑑賞・宮原ホタルまつり」			事業費	
事業の目的	<p>地域内を流れる神原川のきれいな水を利用し、神原公園の一部と隣接する森と湿地をホタルの育成地として地域住民によって整備した「宮原ホタルの里」を、ホタルが羽化する6月にどなたでも観賞できるよう開放する。</p> <p>また、ホタルの里を宮原地区の宝とし、地域住民の交流を図るため宮原ホタルまつりを開催する。</p>				
事業概要	<p>平成22年に呉市の「まち普請事業」や平成24年に第一生命と都市緑化機構の「緑の環境デザイン賞」を受賞し、交付金や助成金で神原公園に隣接する湿地（約600㎡）の整備や神原公園内の小川とホタルの幼虫・メダカなど小生物のすみかとなる池の築造やあじさいの植樹を行ってきた。</p> <p>多くの町民ボランティア及び地元の小中学生の協力を得ながら、平成25年3月末に「宮原ホタルの里」は完成した。毎年、地域住民、地元小・中・高校生と連携し行事や清掃等を実施している。</p> <p>平成30年度は、下記のとおり行事等を実施した。</p> <p>6月 1日～20日 ホタルの里開放 6月 4日 クリーン活動 6月 9日 ホタルまつり 7月30日 アジサイ剪定（雨天中止）</p> <p>*平成29年度に誕生したご当地キャラ「宮原ホタルん」を活用しホタルの里をPRするため、イベント参加やグッズの作成を行った。</p>				
企画・実施した人	<p>宮原地区まちづくり推進委員会が中心となって、自治会連合会等の地元団体や地元企業などの協力を得て行った。</p> <p>引き続き地元の住民や小中学生の協力を得ながら管理運営を行う。</p>				
苦労した点	<p>宮原の「宝」としてホタルの里を伝承していくためにも後継者育成が急務とされているが、若い世代の人材不足で思うように進んでいない。</p> <p>ホタルまつりについては、会場選定や内容趣旨など開催継続に向けての様々な課題が解決されていない。</p>				
活動状況	 <p>ホタルまつり</p>		 <p>ホタルの里開放</p>		
	 <p>クリーン活動</p>		 <p>宮原ホタルんの活用</p>		

番号	40	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	防災を考える宮原地区の集い			事業費	
事業の目的	平成30年7月豪雨により宮原地区においても甚大な被害を受けた中、今後同様の災害が発生することも考えられることから、この経験を基に今後の防災について広く地域住民に認識してもらい、防災意識をより高めることを目的とする。				
事業概要	<p>【第1部】日時：平成30年9月19日（水）14時～ 場所：宮原まちづくりセンター 3階ホール 参加者：58名（宮原地区自治会連合会、第1区民生委員児童委員協議会、宮原地区まちづくり推進委員会、地元住民）</p> <p>平成30年7月豪雨の経験を後世に語り継ぐためにも、宮原地区における被災や避難の状況・当時の様子などを振り返るとともに、今後宮原地区での自主防災体制を確立していくための意見などを取りまとめ、住民に防災意識の周知を図るきっかけとなることを主旨として開催した。</p> <p>当日は呉昭和自主防災連絡協議会のメンバー5名をコーディネーターとしてお招きし、「豪雨前の防災意識はどうだったか」「豪雨時の避難状況はどうだったか」など共通のテーマに基づいてグループ討議を行い、発表を行った。</p> <p>【第2部】日時：平成30年11月11日（日）10時～14時 場所：宮原まちづくりセンター 2階全室 参加者：約150名</p> <p>子どもから大人までどなたでも気軽に参加してもらい、防災について学んでもらうことで、日頃から防災意識をもっと高めてもらうことを目的として開催した。第1部で話し合われた内容や被害マップの展示、防災グッズの展示、非常食の試食コーナーやレシピの紹介、東日本大震災に関する紹介コーナーなど、</p> <p>《展示コーナー》・第1部で話し合われた内容をまとめた資料や被害マップの展示 ・宮原の小学4年生が防災について学習した発表展示 ・防災グッズの展示・東日本大震災に関する資料展示</p> <p>《試食コーナー》・アルファ米の試食 ・手軽に作れる非常食レシピの紹介・実演</p> <p>《体験コーナー》・地震体験装置による災害シミュレーションの体験 《工作コーナー》・段ボールによる簡易トイレ、新聞紙による食器など 防災グッズの簡単工作実演</p>				
企画・実施した人	宮原地区まちづくり推進委員会、宮原地区自主防災リーダー、宮原小・坪内小4年生、呉昭和自主防災連絡協議会				
苦労した点	宮原小学校区と坪内小学校区の事前学習の準備等に温度差がかなりあり、調整が難しかった。防災訓練に対する住民の意識がまだまだ希薄であり、各自主防災会での訓練も必要と感じられた。				
活動状況	 <p>第1部の様子 ①</p>		 <p>第1部の様子 ②</p>		
	 <p>第2部の様子 ①</p>		 <p>第2部の様子 ②</p>		

番号	41	団体名	宮原地区まちづくり推進委員会	代表者	阪井 昌行
事業名	「宮原ホタルんクラブ」			事業費	
事業の目的	<p>呉市子どもまちづくり事業として実施。ホタルまつりへの参加や、授業での総合学習などで宮原にもホタルが飛ぶ「宮原ホタルの里」の事を知り、ホタルについてとても関心が高まり、ホタルをもっと増やしていくにはどうしたら良いか興味を湧いた子ども達が、自分たちで育てたホタルを増やしていけば、地元の方達のアイデアと努力によって造られた「ホタルの里」を守っていくことができ、さらには宮原の名所として広く知られれば、たくさんの人に見に来てもらえ、宮原の町も賑わうのではないかと提案を採用した。</p>				
事業概要	<p>宮原に在住する小・中・高校生を対象とした会員を募集し結成。 宮原まちづくりセンターにホタル飼育装置を特設し、ホタルの幼虫を飼育しながら観察を記録。また宮原ホタルの里づくりにも携わり、ホタルの生育に詳しい地元在住の「ホタルじいさん」にホタルの生態について教えてもらったり、エサとなる「カワニナ」をホタルの里に取りに行くなどの活動を行った。 来年度継続事業として4月以降も活動を続け、羽化したホタルを「ホタルの里開放事業」のオープニングセレモニーで放翔し、ホタルまつりで活動状況を発表することを最終目標としている。 ※平成30年度 会員数12名</p>				
企画・実施した人	<p>事業提案した宮原小学校の児童3名を中心とし結成された宮原ホタルんクラブの会員12名、地域住民の有志、宮原地区まちづくり推進委員会、宮原まちづくりセンター職員</p>				
苦労した点	<p>会員はおろか、指導する大人達もホタルの養殖は初体験であり、装置の作成や環境作りなどを手探りでやっている。現在は順調に幼虫が育っているものの、無事羽化するか不安である。</p>				
活動状況	 <p>2018.09.07 16:50</p> <p>発足式</p>		 <p>飼育活動</p>		
	 <p>勉強会</p>		 <p>現地活動（エサ取り）</p>		

番号	42	団体名	天応まちづくり委員会	代表者	友井 輝道
事業名	鯉のぼりの吹き流し			事業費	320,000円
事業の目的	<p>鯉のぼりの吹き流しは地元ボランティアにより実施しています。竹林から竹を切り出したり、鯉のぼりを取り付けて掲げるなど、地域の方が協力して作業することで、地域交流の機会を創出しています。</p> <p>また、近年ではあまり見られなくなった鯉のぼりを掲げることにより、呉ポートピアパークに来園する多数の親子連れの語らいの場を設けるとともに日本の伝統文化に触れる機会も提供しました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年4月11日（水）～5月30日（水）</p> <p>場所：呉ポートピアパーク 海沿いの遊歩道</p> <p>内容：各自治会から2～3名の参加を得て呉ポートピアパークに18本の鯉のぼりを立てる。</p> <p>約1か月後に各自治会の協力を得て鯉のぼりを撤去する。</p> <p>（竹竿は各自治会から2～3名の参加を得て10月頃に山から切り出し、4月まで天応中学校に保管し、4月に呉ポートピアパークに移動させる。）</p> <p>※平成13年度から始まったこの事業は、毎年80匹程度の鯉のぼりを掲げており、今では呉市の春の風物詩となっています。</p>				
企画・実施した人	まちづくり委員会のメンバーである各自治会から2～3名の参加を得て、竹林からの竹の切り出し、鯉のぼりの取り付け、撤去、修理に当たりました。				
苦労した点	<p>海の側に立てているため、強風に伴い海に落ちたり、破れたりするなど損傷が激しい。なるべく修理しているが、定期的に鯉のぼりを購入しないと事業の継続が難しくなる。（以前から不要になった鯉のぼりを募集しているが、提供者が激減している。）また、風雨のため鯉のぼりが竹竿に巻き付いたり、緩んだりすることが多々あるため、頻繁に点検する必要がある。</p>				
活動状況	 <p>今や地域の風物詩として定着しています</p>		 <p>海沿いの遊歩道に18本の竹竿を立てます</p>		
	 <p>竹竿は地域の竹林から切り出したものです</p>		 <p>地域の皆さんのおかげです</p>		

番号	43	団体名	天応地区社会福祉協議会	代表者	友井 輝道
事業名	「笹酒まつり」と「もちつき大会」			事業費	380,000円
事業の目的	<p>笹酒まつりともちつき大会は、昭和54年から始まった天応を代表する恒例行事です。青竹に含まれているクロロフィルは、制ガン効果があるといわれており、天応町民と来場される皆さんに笹酒を飲んでもらい、この一年の無病息災を祈るとともに、新成人の成長を祝い、今後の活躍を祈念することを目的として開催しました。</p>				
事業概要	<p>日時：平成31年1月14日（祝）10時30分～正午頃 ※成人式は10時～10時30分 場所：呉ポートピアパーク イベント広場，外 内容：神事（来賓，主催者及び新成人代表者による玉串奉奠等），式典，ソーラン踊り（小・中学生），振舞酒，もちつき，ぜんざい配膳，懇親会（卒業時の恩師，来賓，地域の方々） ※お酒を青竹で温めて，晴れ着姿の新成人が来場者約1,600人に振る舞い，さらに地域の皆さんと一緒にもちつきをして，新成人の門出を祝いました。 ※笹酒を飲んで1年の無病息災を願うこのイベントは今回で41回目を数え，今や天応地区の年始の風物詩となっています。</p>				
企画・実施した人	<p>天応地区社会福祉協議会の四役会議において企画立案するとともに，天応地区の各種団体の代表者（各会場の責任者）で会議を開催し，役割分担を再確認し，神事会場，もちつき会場及び懇親会場などの設営や運営を行いました。 また，イベントでは，小・中学校生も参加し，まさに町をあげてのイベントとなっております。</p>				
苦労した点	<p>本年は，7月豪雨災害により，12月までの行事は中止となりました。 笹酒まつりも実施が危ぶまれましたが，新成人の門出であることから，関係者の努力と工夫により，実施できました。</p>				
活動状況	 <p>山から切り出した竹を加工</p>		 <p>ソーラン踊り</p>		
	 <p>新成人からの振舞酒</p>		 <p>もちつき大会</p>		

番号	44	団体名	昭和地区ふれあいフェスティバル実行委員会	代表者	曾根誠二
事業名	第13回 昭和地区ふれあいフェスティバル			事業費	1,313,000円
事業の目的	子供や家族が楽しい体験をとおして地域の方々との触れ合いを深め、昭和の輪を広げるとともに、子供の健やかな成長を願う。				
事業概要	<p>日時：平成30年4月22日（日）9時～15時 場所：昭和城市センター テーマ：みんなでつくり みんな楽しい 手作りイベント ～「おいしい」「たのしい」「なつかしい」がいっぱい～</p> <p>おいしい～郷土料理「八寸」、焼山うどん、綿菓子、ポン菓子、ポップコーン、から揚げ、カレーライス、餅とぜんざい たのしい～昭和北中学校の演奏、メープルカイザーショー、ステージ発表、福祉施設作品展と販売、写生大会、もちつき体験、放水体験、わなげ、スタンプラリー など なつかしい～昭和の駄菓子屋、ヨーヨー釣り、折紙・あやとり・おはじき、プラトンボづくり、紙芝居、琴・尺八・フラダンス体験、親子で藤井清水を歌い昔の遊びを楽しもう など</p> <p>参加者：延べ約13,000人</p>				
企画・実施した人	まちづくり協議会をはじめとする地域の諸団体で「ふれあいフェスティバル実行委員会」を結成し、企画段階からイベント実施までを行った。				
苦労した点	当日は駐車場がないことから焼山公園と昭和城市センター間のシャトルバスを15分間隔で運行したものの、近隣から苦情が若干寄せられた。				
活動状況	 <p>目立つようゲートを設置</p>		 <p>昭和北中の演奏</p>		
	 <p>住民同士のふれあい</p>		 <p>子どもたちが消防車を写生</p>		

番号	45	団体名	昭和東新しい町づくり推進委員会	代表者	生田 政行
事業名	昭和東収穫祭			事業費	150,000円
事業の目的	<p>廃校になった昭和東小学校の体育館やグラウンドを活用し、昭和東地区の活性化と地域住民の交流を目的として、地元産の新鮮野菜の販売やもちつき大会、地域の子どもたちによる「亥の子まつり」など、地域をあげて収穫祭を開催した。</p>				
事業概要	<p>日時：平成30年11月4日（日）10時～12時30分 場所：旧昭和東小学校 内容： ・小学生のコーラス発表（中央小合唱クラブウイング） ・生バンド演奏（サウンドメイツ）、 ・来場者による餅つき体験とつきたてのお餅が配られる「餅つき大会」 ・地域のお年寄りと子どもたちが一緒に「亥の子まつり」 ・昭和東地区の発展を願って「もちまき」 ・地元で採れた新鮮野菜の販売 ・地元団体や協力店舗によるカレーライス・栗ご飯・豚汁・焼きそば・綿菓子・飲み物の販売</p>				
企画・実施した人	<p>主催：昭和東新しい町づくり推進委員会，昭和地区まちづくり協議会 協力：昭和中央小学校合唱クラブウイング，サウンドメイツ， コミュニティケアサークルあお空，ゴジラ☆のお好み焼き， J A 呉昭和支店，呉昭和自主防災連合協議会</p>				
苦労した点	<p>毎年、地元産の新鮮野菜を目当てに、たくさんの方が来場し、あっという間に野菜が完売に。そのため、できるだけ多くの人に野菜を買ってもらい、満足してもらえよう、野菜の収穫時期をイベント開催日に合わせながら栽培した。 また当日、殺到する来場者に混乱が起きないように、十分に注意を払った。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>新鮮野菜を目当てに、長蛇の列が。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>児童の美しい歌声に、聴衆はうっとり。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>餅つき体験ができ、子どもたちも大喜び。「もちまき」では、たくさんのお餅が。</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> </div>				

番号	46	団体名	昭和西女性会	代表者	奥先 楓
事業名	第12回クリスマスコンサート			事業費	300,000円
事業の目的	地域にいながらにして、子どもからお年寄りまで、芸術・文化にふれ合える機会を提供するとともに、イベントを通して、企画力を養い、地域においての女性の地位向上を図ることを目的に実施。				
事業概要	<p>「ピアノ名曲アラカルト」 日時：平成30年12月1日（土）13時30分～ 場所：昭和市场センター 出演：ピアノ奏者 新宅 雅和 二胡奏者 ジャン ショウイェン シャンソン歌手 谷本 惣一郎 参加者：約500人 ※女性会は、会場の整備・整理を実施</p>				
企画・実施した人	昭和西女性会、昭和地区まちづくり協議会				
苦労した点	出演者がそれぞれのジャンルに分かれて3人だったので、窓口・連絡事項・確認なども3か所に分かれており忙しかった。効率化の方法を検討したい。				
活動状況	   				

番号	47	団体名	成人の日記念式典実行委員会	代表者	神田 晃典
事業名	平成30年昭和地区「成人の日」記念式典・記念行事			事業費	700,000円
事業の目的	地域をあげ、地区在住の新成人を祝福・激励するための式典・行事を開催。				
事業概要	<p>日時：平成31年1月14日(祝)13時30分～15時 場所：昭和市场センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会進行（呉昭和高校の生徒） ・国歌・呉市歌斉唱（呉市藤井清水の会） ・音楽の贈り物（昭和中学校吹奏楽部） ・郷土料理「八寸」試食会（昭和西女性会） ・本格コーヒーのおもてなし（昭和東女性会） ・手作りクッキー（昭和地区しょうがい児者福祉事業者連絡協議会） ・アンケートの実施（第19・21区民児協） <p>新成人出席者 305人（対象の86%）</p>				
企画・実施した人	<p>主催：昭和地区自治会連合会，昭和地区まちづくり協議会，呉市，呉市教育委員会 協力：昭和西女性会，昭和東女性会，第19区・21区民生委員児童委員協議会，呉市藤井清水の会，呉市消防団昭和分団，昭和中学校吹奏楽部，呉昭和高等学校 協賛：（株）ますやみそ，（株）白王，（株）広島中央ヤクルト販売，昭和地区しょうがい児者福祉事業者連絡協議会，居食屋 わだち</p>				
苦労した点	<p>地域，企業，行政の3者が協働し成人式を開催。 記念品は地元企業にも協力いただき，地域色の強い成人式となっている。 しかしながら，毎年，記念品の選定には苦慮している。</p>				
活動状況	   				

番号	48	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	郷原町民運動会			事業費	500,000円
事業の目的	既存住宅地に住む方々と、振興住宅団地に住む方々が、スポーツ・レクリエーションをとおして、世代間、地域間交流を行い、絆を深めるとともに、イベントを計画・実施する中で、まちづくりリーダーとなる人材を発掘する。				
事業概要	日時：平成30年4月22日（日）8時30分～12時30分 場所：郷原小学校グラウンド 内容：プログラムは福祉施設入所者や保育所園児等が参加するオープン競技と、12自治会が赤白に分かれての対抗戦で構成。 競技種目：①徒競争、②スプーンリレー、③親子2人3脚、④うずまきリレー、⑤たまいれ、⑥フォークダンス、⑦大綱引き、⑧ムカデ競争、⑨パン食い競争、⑩ホールイン1（老人クラブ枠として設定）、⑪対抗リレー				
企画・実施した人	町民運動会実行委員会（まちづくり推進委員と郷原地区体育協会で組織）				
苦労した点	少子高齢化の地域格差が広がり、各地区毎での選手集めに苦労する状況にある。対策として、従来5地区対抗で実地していた競技を赤白対抗戦に変更し開催した。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>ようやく快晴のもと開催できました。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>初の老人クラブ枠を作り、参加しやすく変更。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>この笑顔が良いですね。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>お父さんも頑張ってます。</p> </div> </div>				

番号	49	団体名	郷原町まちづくり推進委員会	代表者	山本 英則
事業名	ふれあい・いきいきサロン			事業費	50,000円
事業の目的	高齢者が家庭や地域の中で孤立しないように、地域の人たちが定期的にまちづくりセンターに集い、高齢者が健康でいきいきとした生活が送れるよう地域全体で見守り支援する。				
事業概要	<p>平成21年度より70歳以上の高齢者を対象に月に1回開催。 時間：10時～14時 内容：午前中は、サロンの歌、今月の歌、お誕生会、健康体操、各種趣味講座等を実施。昼食をはさんで午後からはステージイベント等を楽しむ。 特徴：地元の小・中学校や保育所と連携し、世代間交流を定期的実施。 医療機関や警察・交通安全協会、消防署等の協力により講演会や生活安全指導を実施。また本年度は、豪雨災害を経験したことで、地域の子どもたちと炊き出し訓練を行い、災害への備えを体験、出前トークでは自分の身を守る研修を通し、高齢者に限らず、自分のこととして災害への心構えを身につけた。 参加者は、現在150人（うち協力員50人）が参加する市内最大のサロンである。</p>				
企画・実施した人	サロン運営委員会（地元自治連、民児協、女性会、運動推進の運営委員と各自治会から推薦された協力員の代表で組織）				
苦労した点	<p>高齢者のサロン参加（外出支援）を地域全体に広げるため、各自治会組織の協力員の組織化と地域リーダーの養成。 年度終りに翌年一年間の活動計画を運営会議により決定しているが、参加者を飽きさせない内容になるよう知恵を出し合っている。</p>				
活動状況	 <p>恒例の中学校全校生徒による360°から包まれる歌声は圧巻です。臨場感伝わりますか？</p>  <p>地域の子どもたちによる炊き出し訓練</p>  <p>民児協担当の健康体操で長生き</p>  <p>お誕生日会では花束と写真を贈呈</p>  <p>自分の身を守るための「防災知識」を研修</p>				

番号	50	団体名	下蒲刈町まちづくり協議会	代表者	渡辺 哲宏
事業名	下蒲刈地区グラウンドゴルフ大会			事業費	約28万円
事業の目的	ルールが簡単で誰でもできるグラウンドゴルフを通じ、地域内の交流を図り、絆を深める。				
事業概要	<p>喜楽会（下蒲刈体育協会グラウンドゴルフ部）が毎年行っているグラウンドゴルフ大会を、下蒲刈在住なら誰でも参加できる行事として、まちづくり協議会が下蒲刈地区グラウンドゴルフ大会として実施した。</p> <p>競技は地区団体戦、一般団体戦、個人戦とし、70名・16チームの参加があった。当初、平成30年9月30日（日）実施を予定していたが、台風の影響により10月8日（月・祝）の開催となった。</p>				
企画・実施した人	地域おこし協力隊員が発案し、まちづくり協議会が実施した。				
苦労した点					
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>開会式（競技説明）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>競技</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>競技</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>閉会式（表彰）</p> </div> </div>				

番号	51	団体名	呉市川尻町まちづくり委員会	代表者	隠村誠二
事業名	いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAPウォーク			事業費	約12,000円
事業の目的	平成25年度に『“かわじり”の新しいマップを作ろう!!プロジェクト』で作成した『いいところいっぱいじゃけえ かわじりMAP』のコースを歩く事によって、人と人がふれあう元気なまちづくりを目指す。(年2回程度)				
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>6月10日(日) 歴史と潮の香り漂うコースを歩こう 参加者: 86名</p> <p>10月14日(日) 川尻おどろきロードコースを歩こう 参加者: 53名</p>				
企画・実施した人	呉市川尻町まちづくり委員会, 川尻地区自治会連合会, 川尻町運動普及推進員会, 川尻保健出張所, 川尻中学校				
苦労した点	関係団体との連絡調整				
活動状況					

番号	52	団体名	川尻町新成人を祝う会実行委員会	代表者	原田邦子																							
事業名	川尻町新成人を祝う会			事業費	約264,000円																							
事業の目的	<p>新成人が企画・運営を担い始めて9年目となる「実行委員会」の活動は、「地域全体で祝う」新成人を祝う会の開催に向けて、中学生から地域の方々まで世代を超えて開催を支えている。</p> <p>【実行委員会の主な活動内容】</p> <p>①懇親会の企画立案 ②当日運営（新成人受付・式典司会・懇親会の司会運営）</p>																											
事業概要	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">【実行委員会】</td> <td colspan="2">【当日】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成30年8月から活動開始</td> <td colspan="2">平成31年1月13日（日）10時～13時</td> </tr> <tr> <td>① 8/28(火)</td> <td>顔合わせ・昨年の様子 ・企画アイデア</td> <td>日時</td> <td>打合せ・準備・リハ9時30分～ 後片付け～14時</td> </tr> <tr> <td>②11/21(水)</td> <td>企画絞り込み・役割分担 対象者確認</td> <td>場所</td> <td>呉市川尻まちづくりセンター</td> </tr> <tr> <td>12/11(火)</td> <td>中学生ボランティアへ説明</td> <td rowspan="3">内容</td> <td>受付（新成人受付・来賓受付） 記念撮影（平台片付け・式典準備） 式典（司会・はたちの誓い） 懇親会（司会・運営） 抽選会・恩師エピソード披露</td> </tr> <tr> <td>1/11(金)</td> <td>準備 式典リハーサル</td> <td>※太字は実行委員会・中学生ボランティア担当</td> </tr> </table>					【実行委員会】		【当日】		平成30年8月から活動開始		平成31年1月13日（日）10時～13時		① 8/28(火)	顔合わせ・昨年の様子 ・企画アイデア	日時	打合せ・準備・リハ9時30分～ 後片付け～14時	②11/21(水)	企画絞り込み・役割分担 対象者確認	場所	呉市川尻まちづくりセンター	12/11(火)	中学生ボランティアへ説明	内容	受付（新成人受付・来賓受付） 記念撮影（平台片付け・式典準備） 式典（司会・はたちの誓い） 懇親会（司会・運営） 抽選会・恩師エピソード披露	1/11(金)	準備 式典リハーサル	※太字は実行委員会・中学生ボランティア担当
【実行委員会】		【当日】																										
平成30年8月から活動開始		平成31年1月13日（日）10時～13時																										
① 8/28(火)	顔合わせ・昨年の様子 ・企画アイデア	日時	打合せ・準備・リハ9時30分～ 後片付け～14時																									
②11/21(水)	企画絞り込み・役割分担 対象者確認	場所	呉市川尻まちづくりセンター																									
12/11(火)	中学生ボランティアへ説明	内容	受付（新成人受付・来賓受付） 記念撮影（平台片付け・式典準備） 式典（司会・はたちの誓い） 懇親会（司会・運営） 抽選会・恩師エピソード披露																									
1/11(金)	準備 式典リハーサル		※太字は実行委員会・中学生ボランティア担当																									
企画・実施した人	<p>実行委員会（前年度成人者1人・成人者7人・次年度成人者1人・保護者4人・地区社協（主催者）1人・川尻市民センター（サポート役）3人）・川尻町女性会・警察・川尻中学校・川尻町地区社会福祉協議会</p>																											
苦労した点	<p>①実行委員の募集・・・地区広報誌「川尻かがやき」やホームページにて実行委員の募集を行っている。同時に声掛けをした当時の中学校生徒会役員が中心となり活動している状況。平成25年度から導入した中学生ボランティアの取り組みが、将来につながることを期待している。</p> <p>②次年度成人者の参加・・・次年度・当該年度・前年度の3学年の成人世代が関わることを目標として活動している。今年度も、会議や当日運営に前年度成人者1人次年度成人者1人が加わり、受付や式典準備などの裏方に携わったことで、来年度の実行委員会活動のきっかけをつくることができた。</p> <p>③中学生ボランティア・・・中学2年生の生徒会・ボランティア4名が参加。裏方として来賓受付や式典準備、片付けなど積極的に活動した。</p>																											
活動状況	   																											

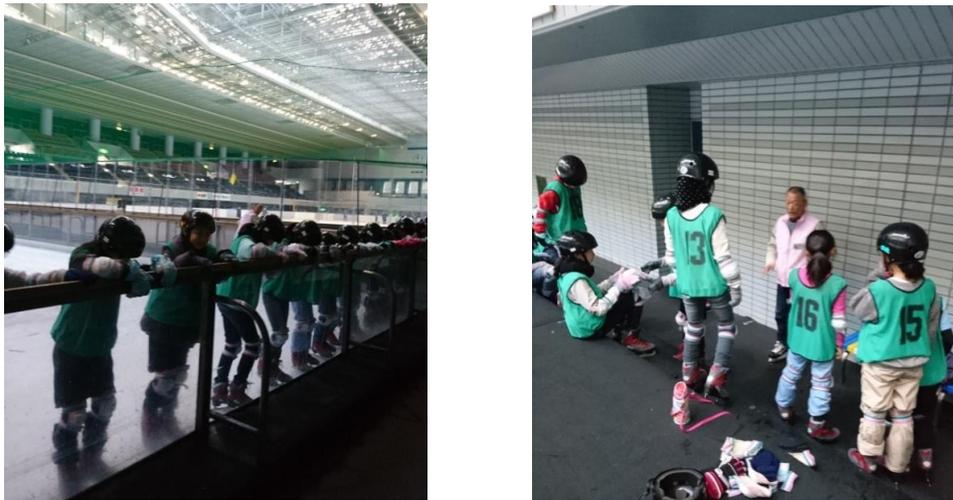
番号	53	団体名	川尻町地区社会福祉協議会	代表者	隠村誠二
事業名	川尻町敬老会			事業費	約1,200,000円
事業の目的	<p>各種団体との協働の幅を少しずつ増やしながら、敬老者に喜んでいただける敬老会を開催できるよう活動している。</p> <p>H20年度：敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼（主催者のみ）</p> <p>H21年度～：敬老会打合せ開催・リハーサル協力依頼（運営協力団体・主催者）</p> <p>なお、当初から司会、交通整理や運営協力（主催者含む）との協働も継続中。</p>				
事業概要	<p>敬老会打合せ：平成30年8月22日（水）18時～19時 各協力団体の役割分担の確認と当日の流れを確認。</p> <p>リハーサル・準備：平成30年9月14日（金） リハーサルでは、司会を担当する朗読ボランティア ハートフルが、アトラクション出演者と打合せをしながら、直前までシナリオを練ったり、裏方を担当する主催者は舞台転換の確認を行い、本番に備えた。</p> <p>敬老会当日：平成30年9月17日（月・祝） 9時～12時 （敬老者：1,529人） 場所：呉市川尻まちづくりセンター（ベイノロホール） 内容：第1部…式典（司会：朗読ボランティア ハートフル） 第2部…アトラクション（司会：朗読ボランティア ハートフル） ①合唱（川尻光幼稚園） ②太鼓演奏（認定こども園かがやき） ③合唱（川尻小学校4年生） ④神楽（伊賀和志神楽団「戻り橋（もどりばし）」）</p>				
企画・実施した人	<p>川尻町地区社会福祉協議会 協力団体：ボランティアさぎなみ、呉市第23区民生委員児童委員協議会、 広交通安全協会川尻支部、同母の会、川尻地区老人クラブ連合会 アトラクション：川尻光幼稚園、認定こども園かがやき、川尻小学校、 伊賀和志神楽団 司会：朗読ボランティア ハートフル</p>				
苦労した点	<p>敬老者に喜んでいただくために、記念品やアトラクションの内容について正副会長会議でアイデアを持ち寄り、協議した。 平成20年度から取り入れた「打合せ」や「リハーサルからの協力依頼」は継続していることで、定着しつつある。</p>				
活動状況					

番号	54	団体名	川尻町元気まつり実行委員会	代表者	森川 泰博
事業名	かわじり元気まつり			事業費	2,440,106円
事業の目的	<p>2000年に安芸灘大橋有料道路が開通したことをきっかけに、川尻町内外に「かわじり」をアピールして、川尻町の魅力をさらに向上させたり、活性化につなげるために始まった元気まつりは、毎年11月の第3日曜日に開催し、毎年約5,000人で賑わう。</p> <p>開催までに、実行委員会・企画部会（合計8回）、バザー部会を重ね、各種団体をはじめ多くの関係者が一丸となって準備を行う。中学生も前日の準備や当日運営にボランティアとして加わり、共に、まつりを支えている。</p>				
事業概要	<p>「みんなが集い みんなで創り みんなが楽しむ！」 日時：平成30年11月18日（日）9時～15時30分 場所：川尻グラウンド オープニング…野呂岩海太鼓（野呂岩海太鼓保存会） メインステージ…筆のパフォーマンス（広高校書道部） ひびけ！野呂太鼓（川尻小学校6年生） なりひびけ みんなの鳴子（川尻光幼稚園） かがやけ！！ちびっこ天国（認定こども園かがやき） 川尻優秀農産物発表・かわちゅうプラス（川尻中学校吹奏楽部） ラムネ早飲み大会・山下 久美子スペシャルライブ かわじりモノ尻〇×クイズ・ラッキーナンバーゲーム他 わくわくイベント…ミニSL・ふわふわパンダ・スカイビュー他 食の元気市…焼きいりこやイノシシの串焼きなど広域8町の特産品を楽しめる</p>				
企画・実施した人	川尻町元気まつり実行委員会・川尻町まちづくり委員会・協賛企業				
苦労した点	毎年、マンネリ化しないよう新企画を何にするか、それに伴う財源確保。				
活動状況	   				

番号	55	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	2018おんどフェスティバル			事業費	2,910,000円
事業の目的	<p>自然に親しみながら，研修，体力づくり等を行うとともに町民相互のふれあいの場，文化，体育活動の中心として，幅広く活用する目的で“マリンふれあいの里大浦崎公園”（現在の名称は大浦崎スポーツセンター）が昭和60年度に完成しました。この公園の完成を契機として，上記に掲げる当該公園の整備目的を達成するために当事業が開催されることとなり，今年度で33回目を数えております。</p>				
事業概要	<p>毎年，町内外から5,000人を超える来場者があり，音戸町で一番大きなイベントです！ 日時：平成30年11月11日（日） 9時30分～15時 場所：大浦崎スポーツセンター 内容：<u>ステージ企画</u> 音戸清盛太鼓，消防団はしご隊演技，元カープ選手トークショー， ○×クイズ大会，防犯大声絶叫大会，呉氏 Jr ダンスショー， お楽しみ抽選会，餅まき等 <u>会場企画</u> 20店舗による飲食物等の出店，消防車両展示，白バイ等体験搭乗 音戸高校カヌー部によるカヌー体験教室，ふわふわドーム ウォーキング大会 少年ソフトボール大会</p>				
企画・実施した人	<p>まちづくり協議会の役員及び事務局が中心となって企画立案し，自治会，女性会，老人クラブ，民生児童委員，PTA，商工会等，各種団体（まちづくり協議会の構成員）の協力により，準備から運営，片付けまでを行い，地域協働で実施しています。また，音戸高校ボランティアの協力も，会場内の清掃，出演，出店と大きな役割を担っています。</p>				
苦勞した点	<p>より多くの人に参加でき，楽しんでもらうための企画，催し物の考案</p>				
活動状況					

番号	56	団体名	音戸町まちづくり協議会	代表者	新谷 勝利
事業名	おんどのふれあい朝市			事業費	700,000円
事業の目的	住民同士のふれあいや、三世代が楽しく交流できる場を提供するとともに、町内にぎわいづくりと地域活性化、地産地消による食の推進を図るため、平成20年10月に第1回目を開催し、以降毎月1回、原則第1土曜日にふれあい広場（旧音戸町役場跡地）で開催しています。				
事業概要	<p>日時：原則、毎月第1土曜日 10時～12時頃 場所：ふれあい広場（旧音戸町役場跡地） 内容：地元でとれた新鮮野菜や海産物、タコ天、炊き込みご飯や細うどんなどの販売の他、プロ野球観戦券などが当たるお楽しみ抽選会や、町内の保育所や小中学校からの歌や踊りのイベントも楽しめます。 （イベント内容） 4月：春の交通安全運動PR 5月：音戸保育所（踊り） 6月：明德保育所（踊り） 7月：雨天中止 8月：消防車スケッチ大会表彰式 9月：雨天中止 10月：雨天中止 11月：波多見・明德小（舟唄） 12月：明德中・音戸小（舟唄） 1月：雨天中止 2月：音戸小（和太鼓） 3月：音戸消防署（救命講習）</p>				
企画・実施した人	まちづくり協議会の役員、朝市委員会の会員及び事務局が中心となって企画立案し、自治会、女性会、老人クラブ、民生児童委員、PTA、商工会、漁協、町外からの出店者等の協力により、準備から運営、片付けまでを行い、地域協働で実施しています。また、音戸中学校の生徒達がボランティアとして協力してくれています。				
苦労した点	今年度は悪天候により4回中止となるなど、天候に大きく左右される。出店内容やイベントがマンネリ化しており、来客数が減少してきている。				
活動状況					

番号	57	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	くらはし観光ボランティアガイドの会ジュニアクラブ研修			事業費	26,500円
事業の目的	くらはし観光ボランティアガイドの会の会員が、ジュニアクラブ会員（倉橋中学校生徒）に観光ガイド研修を行い、倉橋町内の史跡や名所を巡ることで、中学生の郷土学習の一環とする。				
事業概要	<p>日時：平成30年8月28日（火）8時55分～12時</p> <p>参加者：ボランティアガイドの会4名， ジュニアガイド（倉橋中学校1年生）15名，引率教員2名</p> <p>見学地：鹿島の段々畑，鹿老渡の宮林家，室尾の町並み，尾立の石切場</p> <p>内容：倉橋在住の中学生であっても，居住地区近辺しか知らない生徒が多く，初めて行く地区の町並みや歴史に触れたことで大きな反響があった。なかでも，鹿老渡に伊能忠敬が立ち寄った可能性があることなどに興味を持ち，後日，再度見学して知識を深めるなど，郷土の歴史に関心を持つきっかけとなった。</p>				
企画・実施した人	くらはし観光ボランティアガイドの会，呉市立倉橋中学校				
苦勞した点	特になし				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>鹿島の段々畑</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>尾立の石切場</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>室尾の町並み</p> </div>				

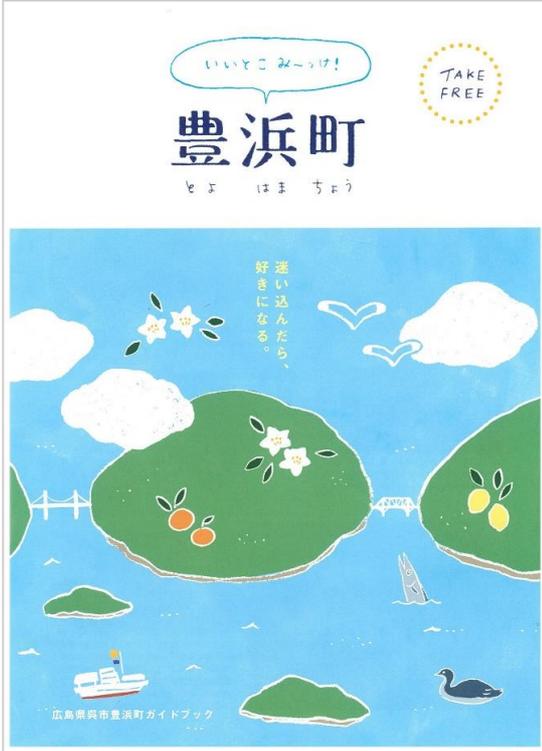
番号	58	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	こどもチャレンジ教室			事業費	92,400円
事業の目的	倉橋町のこども（小中学生）の心身の発達のため、文化・スポーツの分野において体験教室を開催し、その技術を磨いてレベルアップを図る。				
事業概要	<p>日時：平成30年12月15日（土）</p> <p>場所】ひろしんビッグウェーブ（広島市東区スポーツセンター）、広島市こども文化科学館</p> <p>参加者：倉橋小学校7名、明德小学校7名、市職員2名</p> <p>内容：倉橋在住では接する機会の少ない分野を体験してもらうことを主眼に、午前中はアイススケート体験を行った。広島県スケート連盟から派遣してもらった講師のおかげで、全員が怪我をすることなく約1時間半で滑れるようになった。午後からは約1時間のプラネタリウム観覧で冬の天体について学び、参加児童全員が感動したとの感想を述べていた。</p>				
企画・実施した人	宝島くらはしまちづくり協議会				
苦労した点	アイススケートリンクの一般開放日と学校行事との重複調整				
活動状況	 <p style="text-align: center;">スケート教室の様子</p> 				

番号	59	団体名	宝島くらはしまちづくり協議会	代表者	中田 正志
事業名	長串の鼻トレッキングコース景観案内看板設置			事業費	50,789円
事業の目的	倉橋の新名所として整備中の「長串の鼻トレッキングコース」の岬部分に景観案内看板を設置し、観光スポットとしての魅力を一層高める。				
事業概要	<p>看板設置日：平成30年12月26日（火）</p> <p>参加者：くらはし観光ボランティアガイドの会3名，地域おこし協力隊1名</p> <p>内容：長串の鼻の岬部分から見える景色は「ひと目三県」と呼ばれ，文字通り一目で広島県，愛媛県，山口県に属する島々の多島美を楽しむことができる。この岬に景観案内看板を設置するにあたり，看板に貼り付ける画像のドローン撮影や土木作業を地元有志によって行った。</p>				
企画・実施した人	くらはし観光ボランティアガイドの会				
苦勞した点	有志が自費購入したドローンのプログラミングや撮影の天候待ちに手間と時間を要した。また，岬付近のトレッキングコースの幅員が狭いため，軽トラックが乗り入れできない部分の看板や資材の運搬はトップカーを利用した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center;">案内看板設置の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				

番号	60	団体名	蒲刈町まちづくり協議会	代表者	会長 谷村 淨
事業名	第18回 かまがり恵みフェア			事業費	1,024,865円
事業の目的	蒲刈町の観光資源を広く紹介し観光客の誘致に努め、観光事業、各種産業の発展に寄与することを目的とする。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ B & G海洋センターと輝きの館との間の広場において、町内外から特産品などの販売するブースを開設した。出店件数は12店舗。「潮騒の館」「恵みの館」「輝きの館」の3館を廻りスタンプを集めメイン会場の県民の浜の抽選会場で抽選を行うと豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催した。 ・ イベントコーナーにおいては、和ロック、舞踊、ピエロの愉快的なバルーンショーなどを披露した。また昔の遊びコーナーにおいて駒廻し、凧揚げを実施した。 ・ B & G海洋センターにおいて蒲刈地区社会福祉協議会主催による健康福祉祭りも同時開催した。 				
企画・実施した人	蒲刈町まちづくり協議会のメンバー				
苦労した点					
活動状況	 <p>主催者挨拶</p>		 <p>抽選会場</p>		
	 <p>会場の様子</p>		 <p>会場の様子</p>		

番号	61	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	ええとこ村プロジェクト事業（ひまわり植栽）			事業費	
事業の目的	休耕田活用, 景観保全, 子どもたちとひまわりを育てつつ気候変動, 地球温暖化についての体験学習				
事業概要	<p>5月初旬より休耕田の土づくりを始め5月中旬以降子どもたちとひまわりの種蒔きをした。その後水やり, 草刈る等を実施し, 時々天候など観察した。7月の豪雨にも負けず無事咲いた。</p> <p>子どもたちから豪雨災害で避難している被災者の方々にひまわりを届け元気づけたいと発案があり, ひまわりの花束をつくり避難所を訪問した。</p>				
企画・実施した人	安浦まちづくり協議会, 安登小学校				
苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりが咲くまでの日々の管理。（水やりや草刈り等） ・子どもたちに植物が二酸化炭素削減に貢献していることを理解させること 				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>咲いたひまわり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子ども達によるひまわりの摘み取り</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ひまわりを持って各避難所を訪問する子供達</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>贈られたひまわり</p> </div> </div>				

番号	62	団体名	安浦町まちづくり協議会	代表者	会長 田中 敏弘
事業名	安浦ゆめ花火大会			事業費	
事業の目的	<p>安浦町は7月豪雨災害により多大な被害をうけ、恒例の「安浦新ええとこ祭り」の中止等まちづくり事業は多くが計画変更となった。</p> <p>状況は直接・間接、規模など様々であるが生活への影響を受けていない住民はおらず、まさに住民全ての方が被災者となった。</p> <p>そのため町内で気持ちを一つにして、災害により亡くなられた方々への哀悼の意を表すため、また、安浦町の復興を目指すきっかけ作りを目的として「安浦 ゆめ 花火大会」を実施した。</p>				
事業概要	<p>2月2日（土）に実成新開地区で安浦新ええとこ祭り実行委員会が「安浦ゆめ花火大会」を実施した。会場に駐車場の確保ができないため安浦市民センターから大型バス2台のシャトルバスを運行した。</p> <p>花火打上前の16時からバザーを始め、焼き牡蠣、うどん、ぜんざい等の無料配布と、どんこすくい、牡蠣飯、牡蠣天ぷら、ジュース、スイーツの販売など暖かいものや子ども向けのものを用意した。また、呉市公認キャラクターの呉氏も参加し子どもたちを楽しい思い出を提供できた。18時30分から花火の打上を開始した。打上花火は1130発で約30分の短い時間であったが、クライマックスの打上前に「被災した地域で不安のない普通の生活に戻るにはまだまだ遠い道のりです。わがふるさと安浦町の未来に向けて復旧、復興というみんなの夢を形に、少しずつ頑張っていくぞ！」というアナウンスで会場は、涙する人や「ありがとう」の声があがるなど多くの感動とともに花火大会を締めくくることができた。</p>				
企画・実施した人	<p>・安浦新ええとこ祭り実行委員会、安浦地区自治会連合会、安浦漁協、安浦漁協青年部（若部海）、安浦まちづくり協議会、安浦町観光協会、地域ネットクレンド、呉広域商工会青年部川尻支所、呉広域商工会青年部安浦支所、呉広域商工会女性会安浦支所、（株）栄和電気、呉市消防団安浦地区隊</p>				
苦労した点	<p>会場が被災ゴミの一時置場付近であったことや実施時間が夜間であった点から来場者が怪我などしないよう安全面の対策に苦慮した。（全区域の草刈り、海上落下の警備等）</p>				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>実成新開草刈り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花火会場の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>花火の台船準備中</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>頑張ろう安浦 安浦ゆめ花火大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>				

番号	63	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	歩け歩けウォーキングコース 命名プロジェクト			事業費	280,204円
事業の目的	ビューティフルアイランド祭りや安芸灘とびしま海道ウォーキングなどの地域行事に合わせて配布し、豊浜町の魅力、新しい発見などを再確認していきます。				
事業概要	<p>現在は「とよはまウォーキングMAP」1・2及び「小野浦迷路探検マップ」を作成しています。</p> <p>今年度は、豊浜町全体を紹介するガイドブック「いいところみ〜っけ！豊浜町」を印刷して各施設に配布していきます。</p> <p>呉観光協会、ひろしま夢プラザなど呉市内外に配布しました。</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	豊浜らしさを表現する記事とページ構成に苦労した。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">豊浜ガイドブック</p>				

番号	64	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	魔法のランプ事業			事業費	188,096円
事業の目的	<p>プロの音楽家やサッカー選手を招き演奏会やスポーツ教室を開催します。また、サンフレッチェ広島の公式試合を観戦します。</p> <p>これらの事業を通じて、音楽やスポーツに興味を持ち、元気で夢や希望にあふれる島っ子を育てていきます。</p>				
事業概要	<p>豊浜町の子供たちは、プロの活躍を生で見たり、指導を受けることがありません。スポーツや音楽の素晴らしさに触れて興味を持ってもらい、プロの指導により技術の向上を図り、一段上の世界を体験してもらいます。</p> <p>日時・参加人数：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テニス教室（平成30年8月7日（火）～9日（木）） 中学生延べ24名 ○サッカー観戦（荒天のため中止） ○サッカー教室（平成31年3月3日（日）予定） ○第19回きらきらコンサート（平成30年11月30日（金）） 成人48名 幼児4名 ○第20回きらきらコンサート（平成31年3月20日（火）予定） 				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会，豊浜まちづくりセンター				
苦労した点	野外活動で天候により中止になることです。たくさんの人が参加できる時期及び指導員の都合などの調整です。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>テニス教室</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>テニス教室</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>第19回きらきらコンサート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第19回きらきらコンサート</p> </div> </div>				

番号	65	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	島めぐり事業（齋で島コン）			事業費	45,543円
事業の目的	<p>地元の男性が瀬戸内の島の魅力（自然環境、料理等）を通じて、都会の女性をもてなして、島の魅力を再発見します。 また、女性との出会いが少ない島の男性に出会いの機会を提供し、カップル誕生を旨とします。</p>				
事業概要	<p>日時・場所：平成30年8月19日（日） 齋島 地元の独身男性が豊浜町齋島で豊浜の魅力を紹介しながら都会の女性をもてなす婚活イベントを開催しました。 参加者は地元男性6名、女性6名の12名で自己紹介、バーベキュー、スイカ割りなど楽しいひとときを過ごしました。 参加女性のアンケートでは、楽しかったが4名、まあまあ楽しかったが2名の結果です。</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー				
苦労した点	若い地元男性の参加が少ないことと、女性を集めることです。				
活動状況	 <p style="text-align: center;">島コンの様子</p>				

番号	66	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一	
事業名	ビューティフルアイランド祭り			事業費	1,330,438円	
事業の目的	<p>だれもが健康でいきいきと暮らすことのできる健康づくりや世代間交流を目的として、子供から高齢者まで気軽に参加できる「ウォーキング大会」を中心に開催します。</p> <p>町外の方にも広く参加を呼びかけ、祭りに参加していただくことで豊浜町の良さ(島の香り・味・自然)のPRを行うことを目的とします。</p>					
事業概要	<p>子供から高齢者までが気楽に参加できる「ウォーキング大会」や「体力測定」のほか、各種団体の模擬店や特産品の販売、防災・防犯コーナーなどを設け行います。また、特設ステージ等では文化団体の成果発表や音楽グループ等の演奏が行われます。各種団体の協力のもと、6つの柱を組み合わせ笑顔あふれるイベントを実施します。</p> <p>日時・場所：平成30年10月20日(土) 親水公園・豊浜中学校 参加者：体力づくり(ウォーキング大会)123名 生活環境づくり(プランターコンテスト)17名 安全・安心づくり(防犯・防災コーナー)2団体 健康づくり(体力測定・健康チェック)約100名 人づくり(イベント交流・露店)16団体 文化活動づくり(作品の展示)8団体</p>					
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会					
苦労した点	準備、片付けにたくさんの協力者が必要です。 天候しだいでは用意した材料などがむだになります。					
活動状況	<p>体力づくり (ウォーキング大会)</p> 	<p>生活環境づくり (プランターコンテスト)</p> 	<p>安全・安心づくり (防犯・防災コーナー)</p> 	<p>健康づくり (体力測定・健康チェック)</p> 	<p>人づくり (イベント交流・露店)</p> 	<p>文化活動づくり (作品の展示)</p> 

番号	67	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	伝統的料理の教室			事業費	55,170円
事業の目的	<p>高齢化の進行に伴い、冠婚葬祭等での料理も手作りすることが難しく、仕出しを取るようになり、豊浜町の食材を使った伝統的な料理も作られなくなってきています。このため、豊浜町の伝統的な料理（食文化）が消えていくのではという危機感から、これらを記録し、後世に伝承します。</p>				
事業概要	<p>豊浜町内の各地区に残る伝統的料理について、「豊浜町の伝統的料理」の冊子を作成した中で、伝統的料理を伝えるため、地元の住民の指導のもと、豊浜中学校の2年生を対象に伝統的料理の教室を開催します。 日時：平成30年12月14日（金） 参加者：中学校2年生11名 メニュー：タコ飯、大根とニンジンのサラダ、豚汁、コロッケ、ひじきの煮物</p> <p>広島国際大学と豊浜町・黒瀬町・安芸太田町による第2回目の合同サロンを安芸太田町で開催し、特産品を持ち寄り、昼食会（イノシシカレー）や健康学習を行いました。 日時・場所：平成30年11月10日（土） 安芸太田町 筒賀福祉センター 豊浜町特産品：みかん、レモン</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会のワーキンググループのメンバー 豊浜町老人クラブ				
苦労した点	<p>学校の授業時間内で料理して、試食をしなければならないので時間配分に苦労します。また、季節によって手に入らない食材がありメニューが限られます。 3町合同サロンは参加募集に苦労しました。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">中学校2年生対象料理教室</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">3町合同サロン</p>				

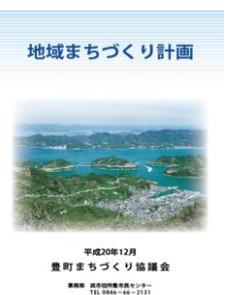
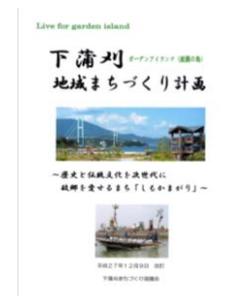
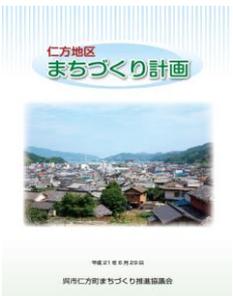
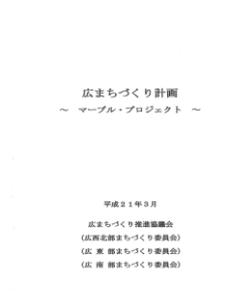
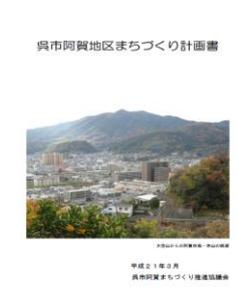
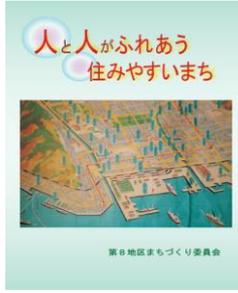
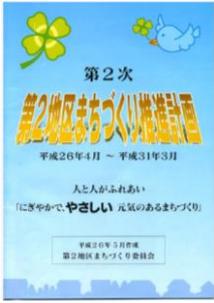
番号	68	団体名	豊浜町まちづくり協議会	代表者	伊藤 圭一
事業名	広島国際大学との地域提携			事業費	100,070円
事業の目的	地元高齢者が広島国際大学とコミュニケーションを持つことで、自分自身の健康状態を把握し、健康に関する意識を高め、いきいきと暮らしていける生活を送ることを目的とします。				
事業概要	<p>広島国際大学による健康チェック、健康講座、健康体操を行います。また、島での暮らしや生活の知恵についての意見交換を行います。</p> <p>第5回瀬戸内イキイキプロジェクト 日時：平成31年12月22日（土） 参加者：地元住民22名，学生19名 健康講座：脱水症予防</p> <p>第6回瀬戸内イキイキプロジェクト 日時：平成31年1月26日（土） 参加者：地元住民13名，学生11名 健康講座：認知症予防</p> <p>ビューティフルアイランド祭りに参加 参加者：19名</p>				
企画・実施した人	豊浜町まちづくり協議会				
苦労した点	みかんの収穫時期なので農作業に追われ、人が集まらないことです。				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>第5回瀬戸内イキイキプロジェクト</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>第6回瀬戸内イキイキプロジェクト</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビューティフルアイランド祭り</p> </div> </div>				

番号	69	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	豊町町民運動会			事業費	100,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「人々がふれあう「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、地区別対抗戦による町民運動会を実施する。				
事業概要	日時：平成30年6月10日（日） 場所：豊小学校グラウンド 内容：8地区に分かれて競技する。グランドゴルフ、満水競争、リレー、タル転がし、玉入れ等の競技がある。 参加者：約1,000人				
企画・実施した人	豊町地区社会福祉協議会、豊町体育協会、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	住民の高齢化に対応するため、種目の変更や距離等の変更が生じている。しかし、それでも選手集めが大変であるが、実施した後の反省会の実施により和気あいあいとした、地域コミュニティには欠かせない豊地区の伝統行事である。				
活動状況	 <p>選手入場</p>		 <p>選手宣誓</p>		
	 <p>小中学生リレー</p>		 <p>玉入れ</p>		
	 <p>地区対抗300歳以上リレー</p>		 <p>閉会式</p>		

番号	70	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	第35回 豊町七夕納涼祭			事業費	2,400,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、ステージイベントや花火大会を実施する。				
事業概要	<p>日時：平成30年8月4日（土） 18時～21時 場所：小長港フェリーターミナル前広場他 参加者：約4,500名 内容：「スタジオG1（地元子供たちのダンス） 「akiyoちゃんバルーンショー」 「ていーな&琉球呉太鼓」沖縄民謡ステージ 「神園さやか」歌謡ステージ 小長港の沖合いに台船を浮かべ、2,000発の海上花火大会を実施</p>				
企画・実施した人	豊町まちづくり協議会，豊町地区社会福祉協議会，豊町七夕納涼祭実行委員会が主催であるが，特に，呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員や呉広域商工会豊支所が中心となって実施した。				
苦労した点	<p>今年は，豪雨災害を受けて，開催が危ぶまれたが，地域を奮い立たすために実施した。 また，この大会は地元の商工会加盟店や各種団体・個人に協賛金として約150万円集めて実施している（残りはまちづくり協議会からの助成金）。そのための集金活動が非常に大変である。 このイベントは，とびしま海道の島以外からの来客も多数おり，今後はさらに，とびしま海道の納涼祭としての位置づけとするためにも，下蒲刈・蒲刈・豊浜地区等の団体や個人にも協賛金をお願いしているが，なかなか協力を得るのが難しい。また，これら地区外からのお客様の駐車場確保は大きな課題となっている。</p>				
活動状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ステージイベント</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>花火大会</p> </div> </div>				

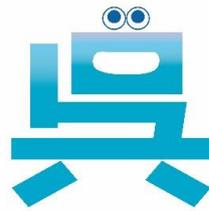
番号	71	団体名	豊町まちづくり協議会	代表者	本末 満
事業名	第14回 豊町産業文化祭			事業費	450,000円 (負担金)
事業の目的	豊町まちづくり協議会策定「まちづくり計画」の振興方針「にぎわいと活力ある「ゆたかまち」をつくろう」に基づいて、産業（果実品評会や農産物・加工品バザー）と文化（舞踊、歌謡などの発表会）の祭りを実施する。				
事業概要	<p>日時：平成31年2月9日（土）・10日（日） 場所：安芸灘交流館（豊まちづくりセンター）及び周辺</p> <p>①開会式でのもちまき ②産業部門 果実品評会（展示柑橘販売）、柑橘販売、柑橘加工品（みかん味噌・みかん餅・ジャム・ケーキなど）、野菜・漬物、健康祭り、輪投げ大会、もちつき、米すくい、ビンゴゲーム、大抽選会、焼ガキむきカキ・唐揚げ・うどん・たこ飯・寿司・いぎす豆腐・たこやき・やきそば・別製アイス・クレープ・じゃこ天・礼文島海産物等販売。農業機械・印鑑の展示販売。 ③文化部門 謡曲・フラダンス・箏曲・舞踊・カラオケ・バレエ・コーラスの発表会 「中国雑技（変面・鞭技・孫悟空）ステージ」 絵画・押し花・写真・俳句・墨絵、豊小・豊浜中学校・ゆたか幼稚園作品展。</p>				
企画・実施した人	豊町まちづくり協議会、豊町地区社会福祉協議会、豊町産業文化祭実行委員会が主催であるが、特に、呉広域商工会青年部安芸灘支部豊地区の会員、文化協会の各種団体、豊市民センターが中心となって実施した。				
苦労した点	会場の周辺が非常に狭く来訪者の駐車場の確保に苦慮した。 今年は、初日が雨で来訪者の減少が懸念されたが、二日目は、天候も回復したことにより来訪者も回復して、実行委員会、出展者・参加者の連携・協力により盛大に祭りを実施することができた。				
活動状況	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>開会式での餅まき大会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>果実品評会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ホールでの発表会</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>展示販売状況</p> </div> </div>				

(参考) 地域まちづくり計画



地域の共有する夢（地域の将来像、地域課題の克服等）の実現に向け、おおむね5～10年間で取り組むべき地域の構想で、地域住民の総意に基づいて住民自身（まちづくり委員会）が策定したものです。この計画に基づき、地域自らが主体となったまちづくりが進められています。

好きなんよ



ゆめづくり事例集2018

発行：平成31(2019)年2月

編集：呉市市民部地域協働課
各市民センター